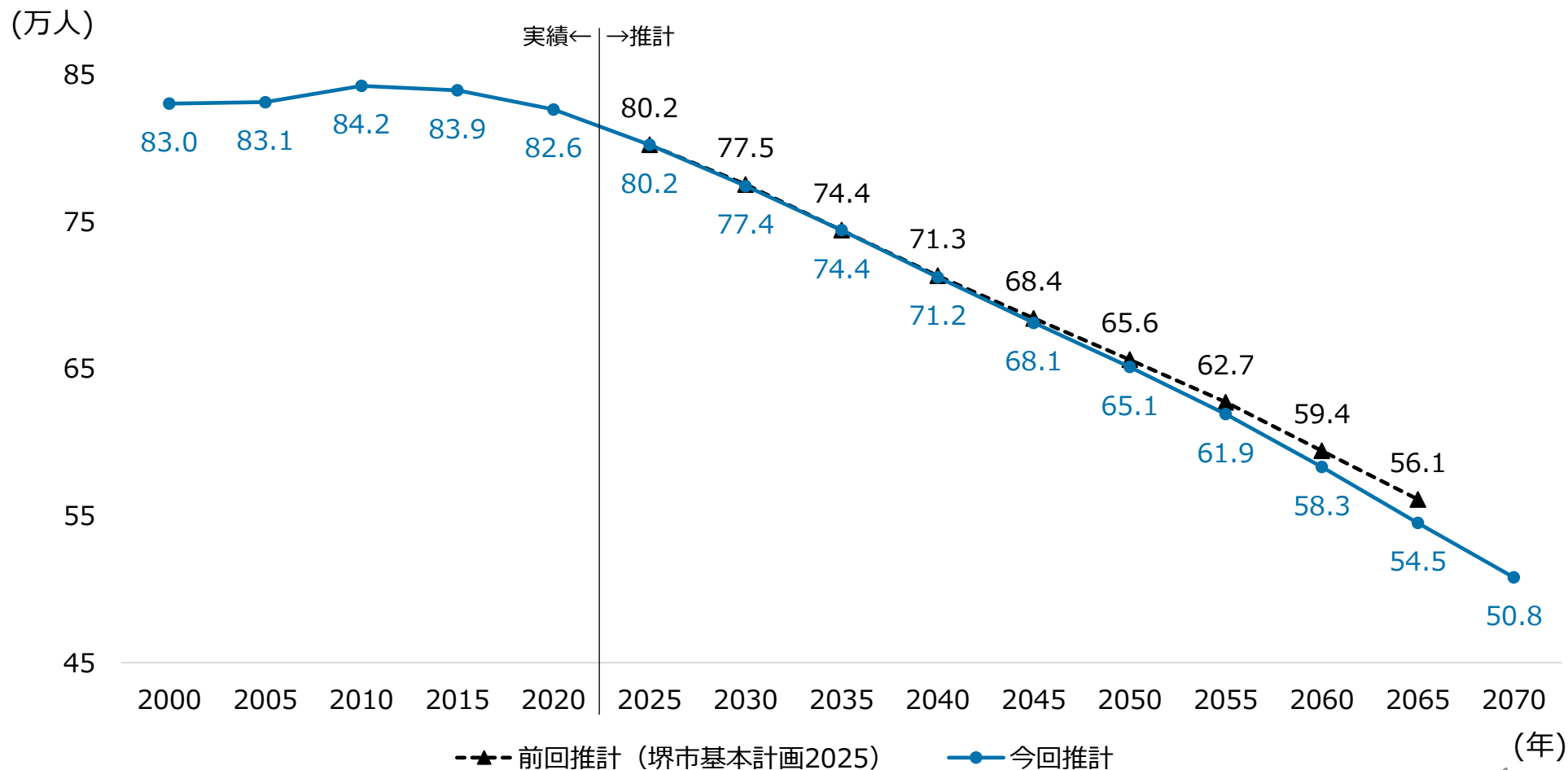


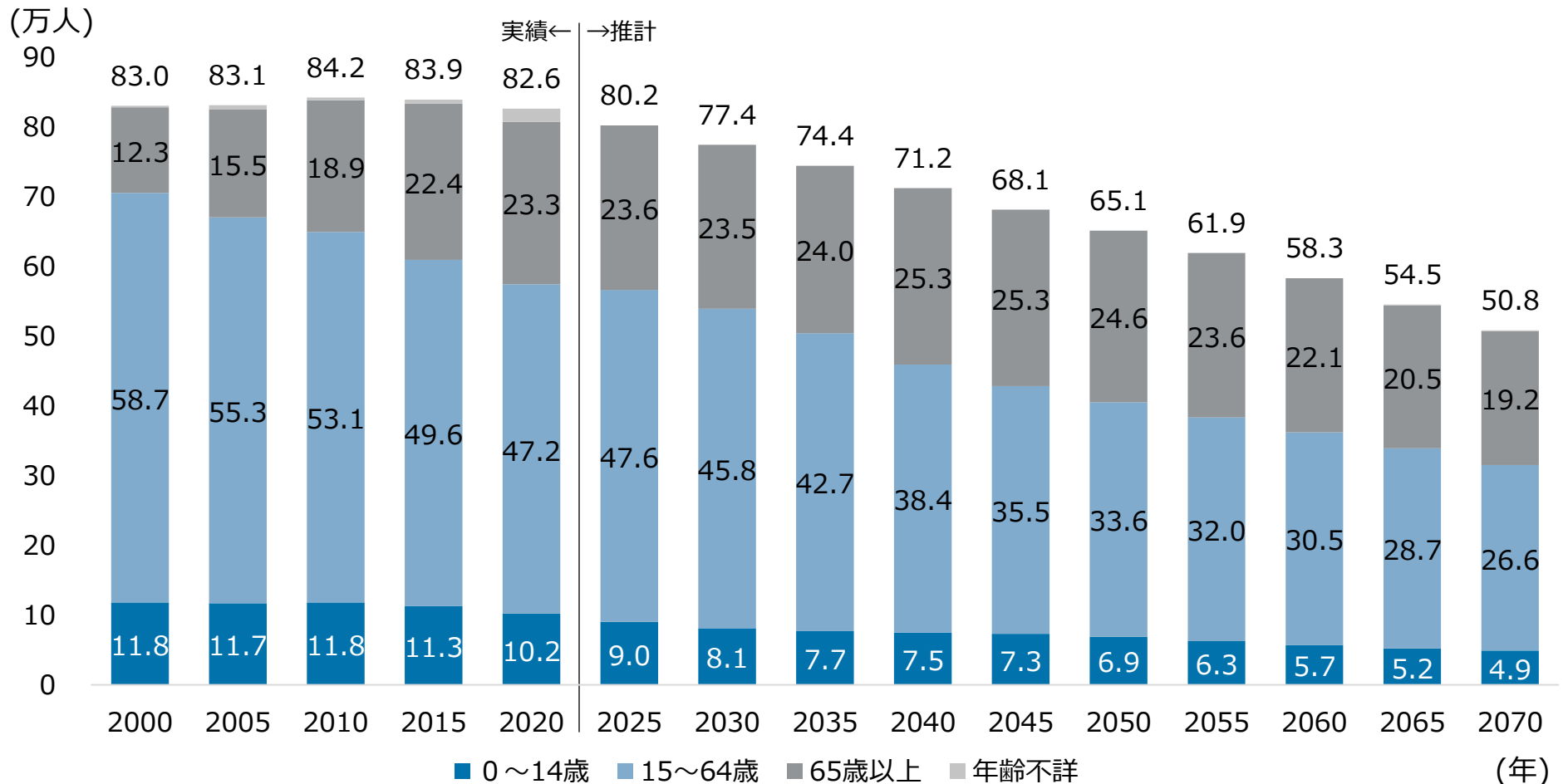
総人口の将来推計

- 今回推計は前回推計（堺市基本計画2025）よりやや下振れ。
- 2030年には80万人、2045年には70万人を下回る見込み。



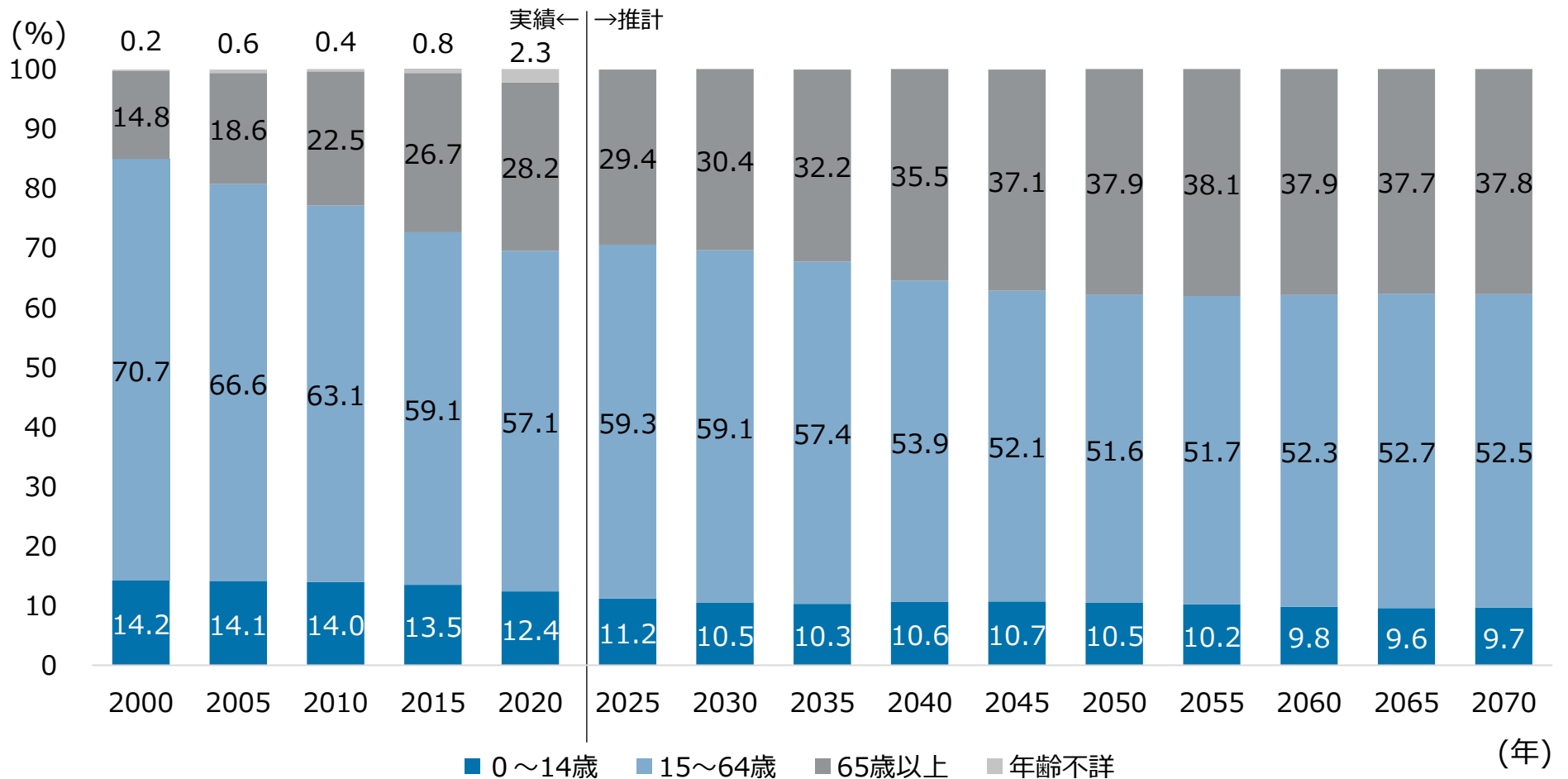
年齢3区分別人口の将来推計

- 年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向で推移する見込み。
- 高齢者人口（65歳以上）は2045年まで増加傾向で推移するが、その後は減少に転じる見込み。



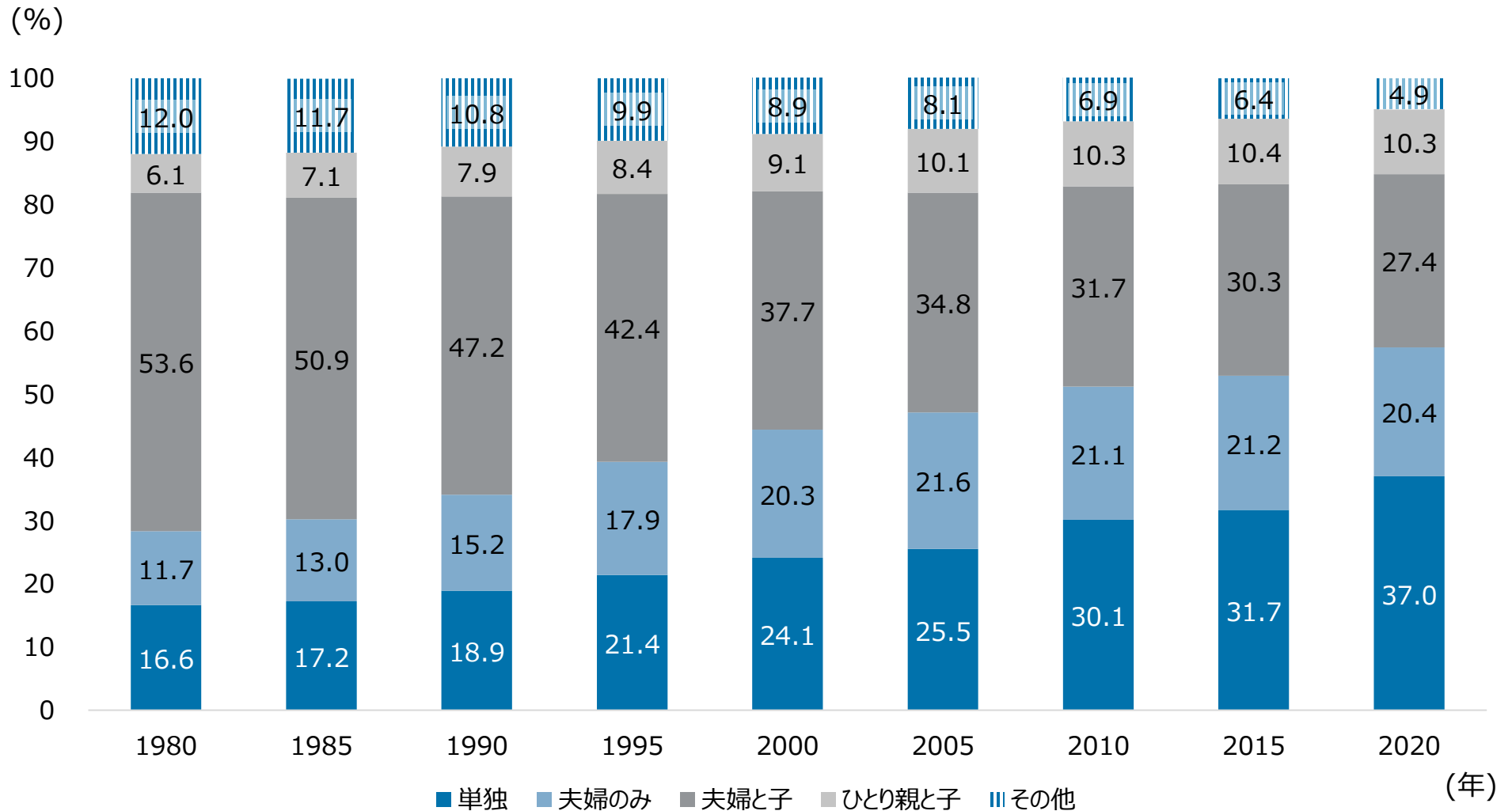
年齢3区分の人口構成比の将来推計

- 2025年以降は年少人口比率、生産年齢人口比率は低下、高齢者人口比率は上昇する見込み。
- 2050年以降は3区分とも横ばい傾向で推移する見込み。



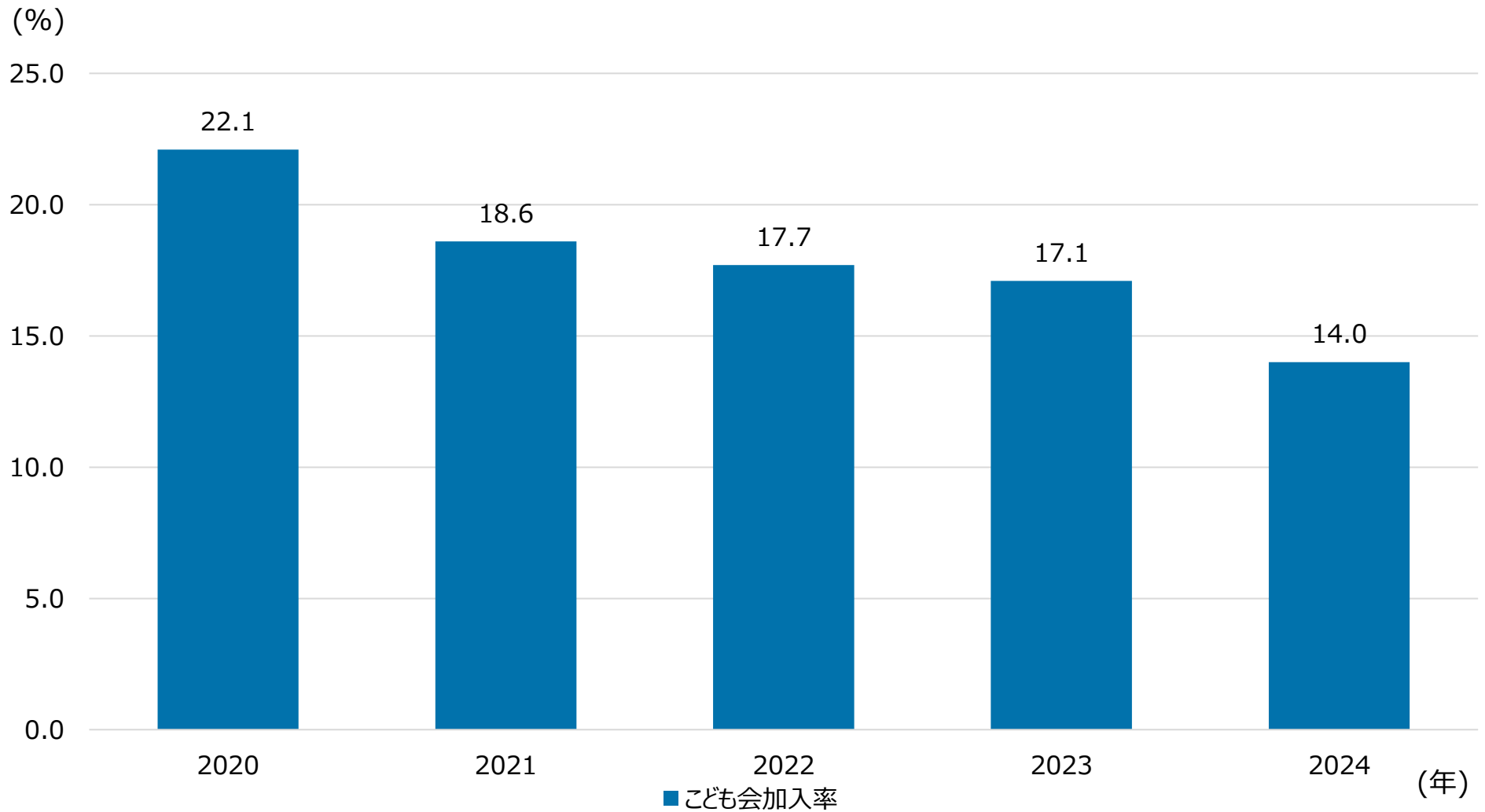
世帯類型別世帯割合の推移

○ 夫婦と子からなる世帯の割合は減少傾向、単独世帯の割合は増加傾向。



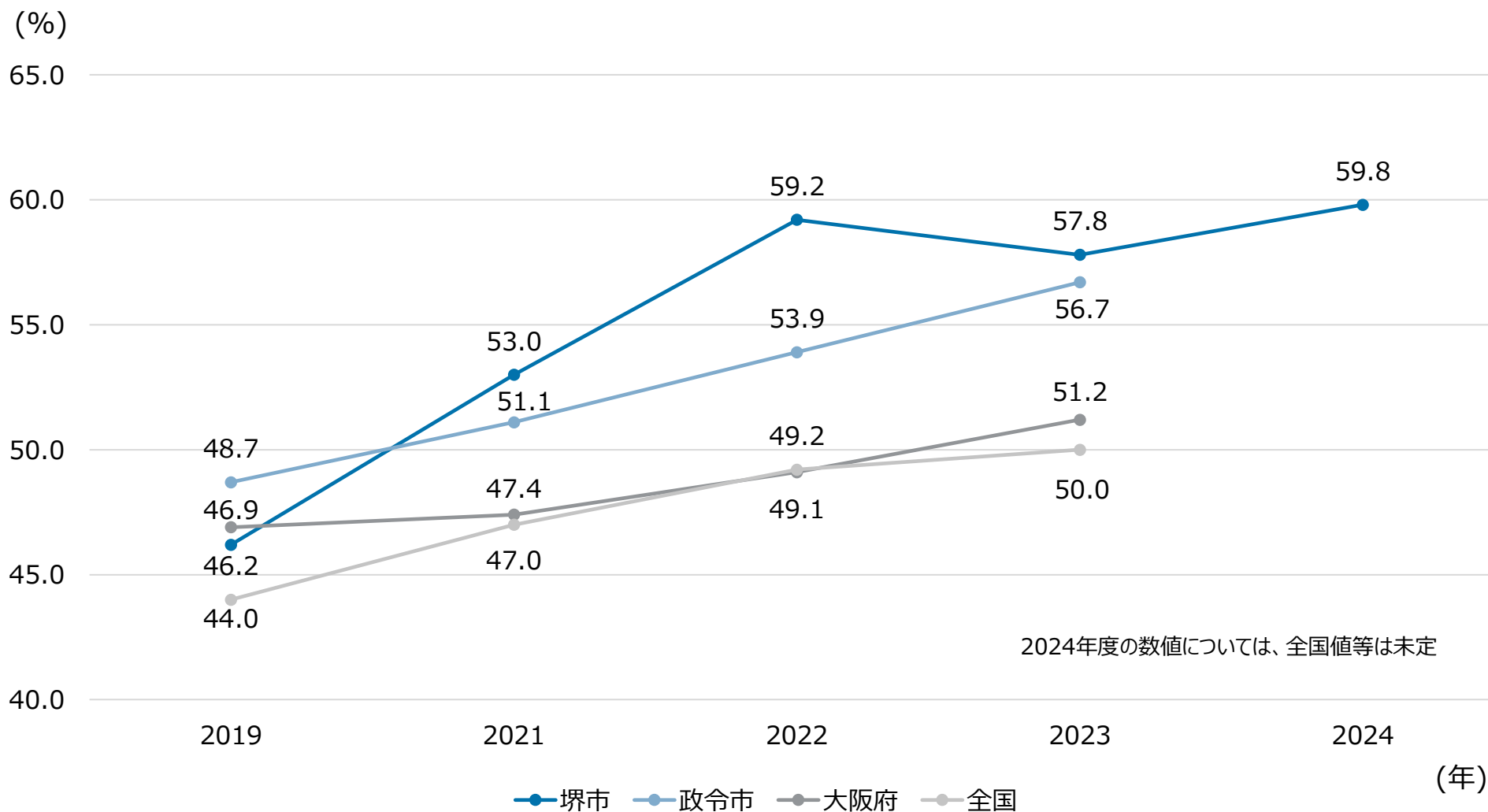
こども会加入率

○ こども会加入率は年々低下しており、2020年から2024年で比較すると、8.1%減少。



中学卒業段階でCEFR A1レベル（英検 3級）相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合

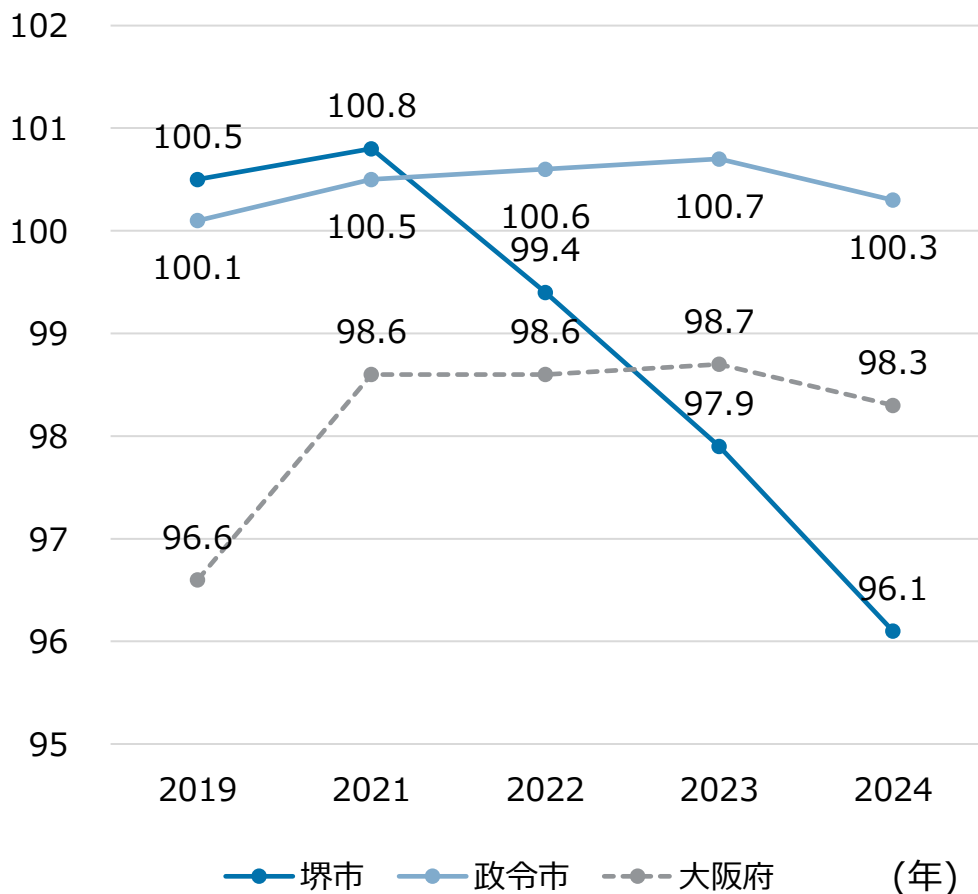
○ 2023年に減少に転じたが、概ね増加傾向にあり、全国を上回る割合で推移している。



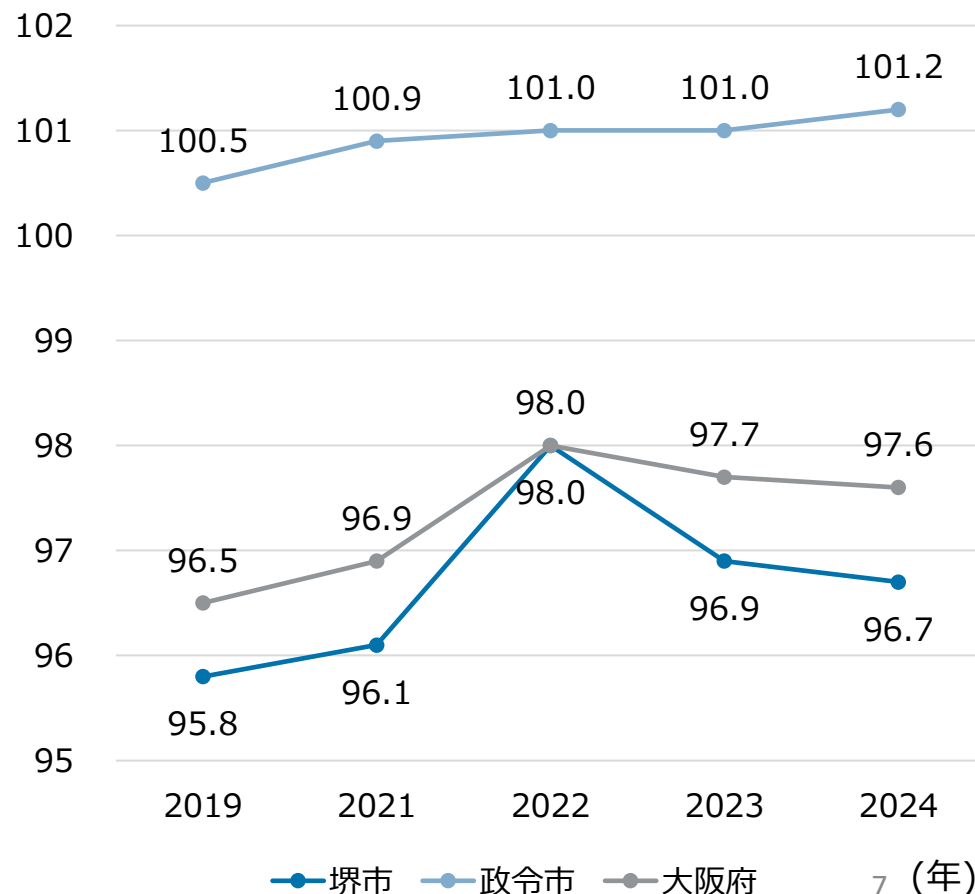
全国学力学習状況調査の推移

- 小学6年生は2022年度以降は低下傾向、2023年度以降は全国、大阪府、政令市平均を下回る水準で推移
- 中学3年生は横ばい傾向、全国、大阪府、政令市平均を下回る水準で推移

小学6年生（全国を100とした場合）



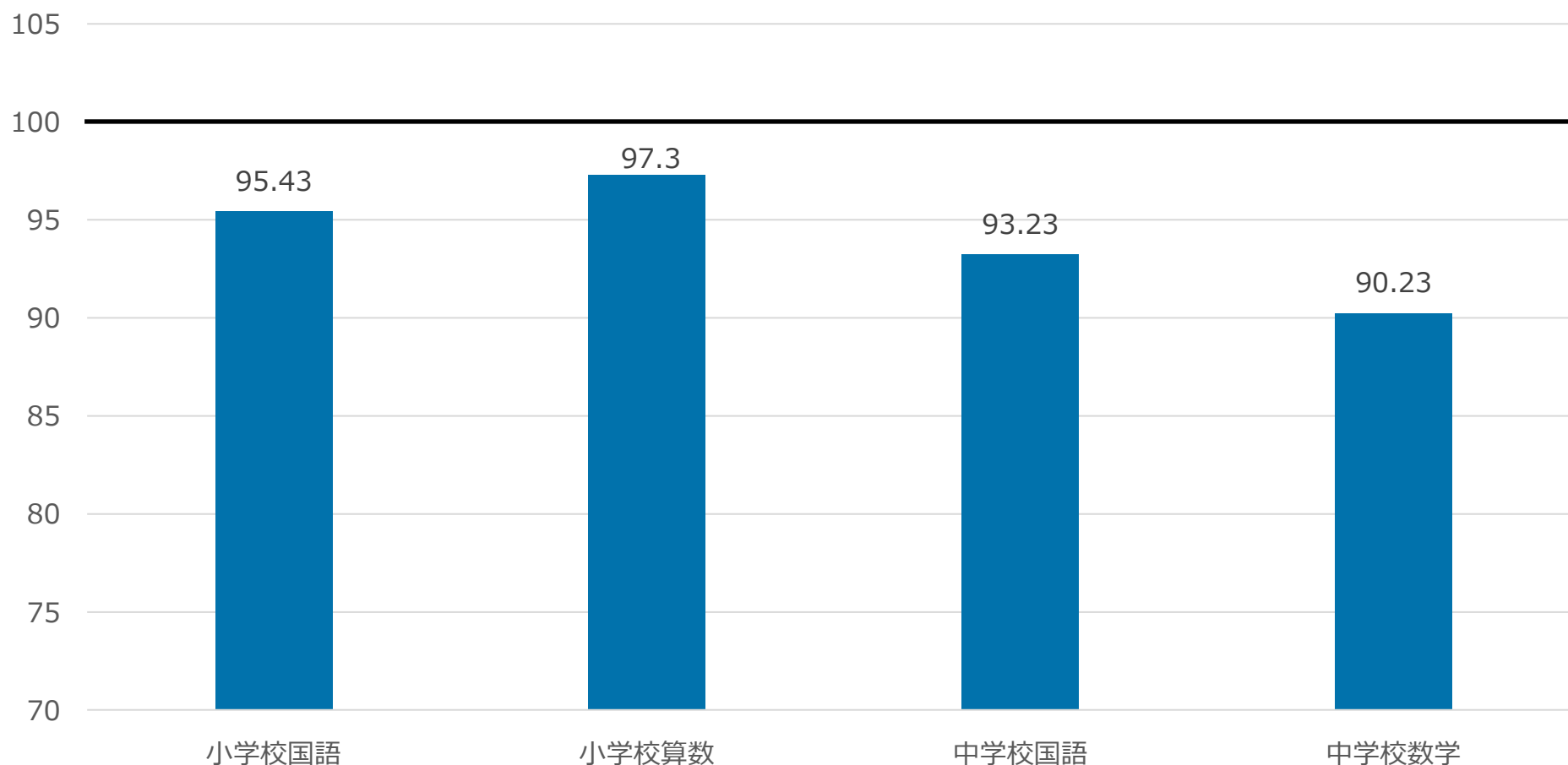
中学3年生（全国を100とした場合）



複数の情報を関連付けて考える問題の正答率

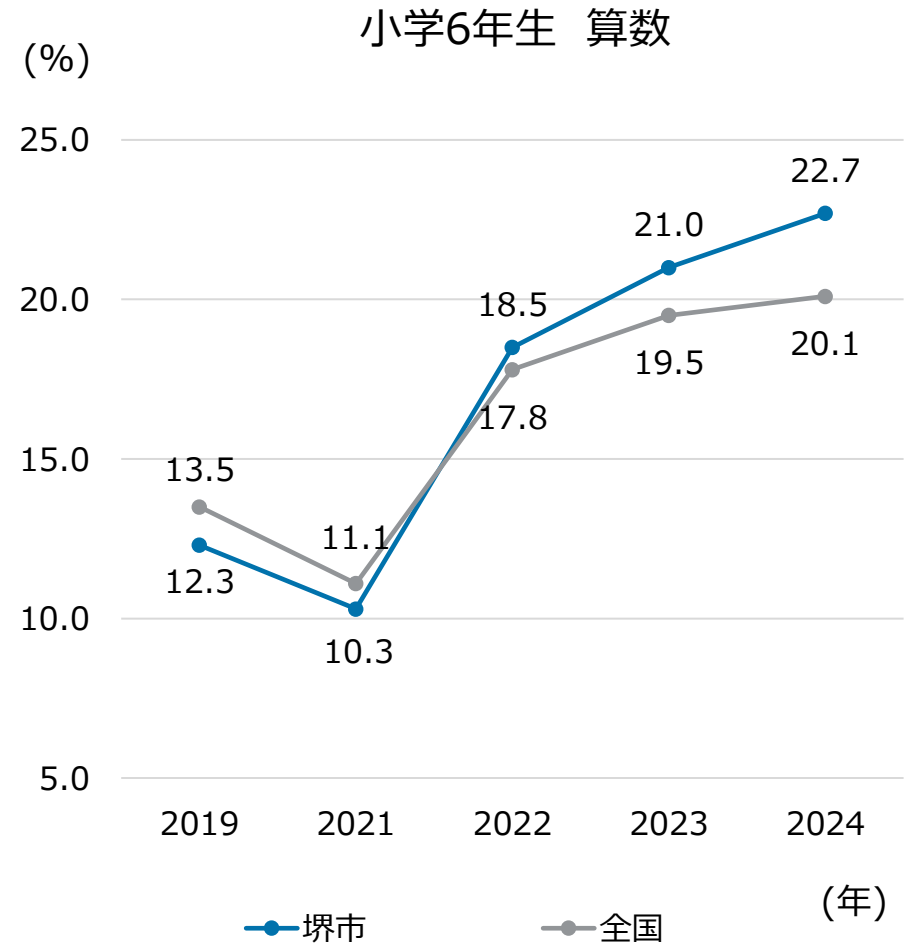
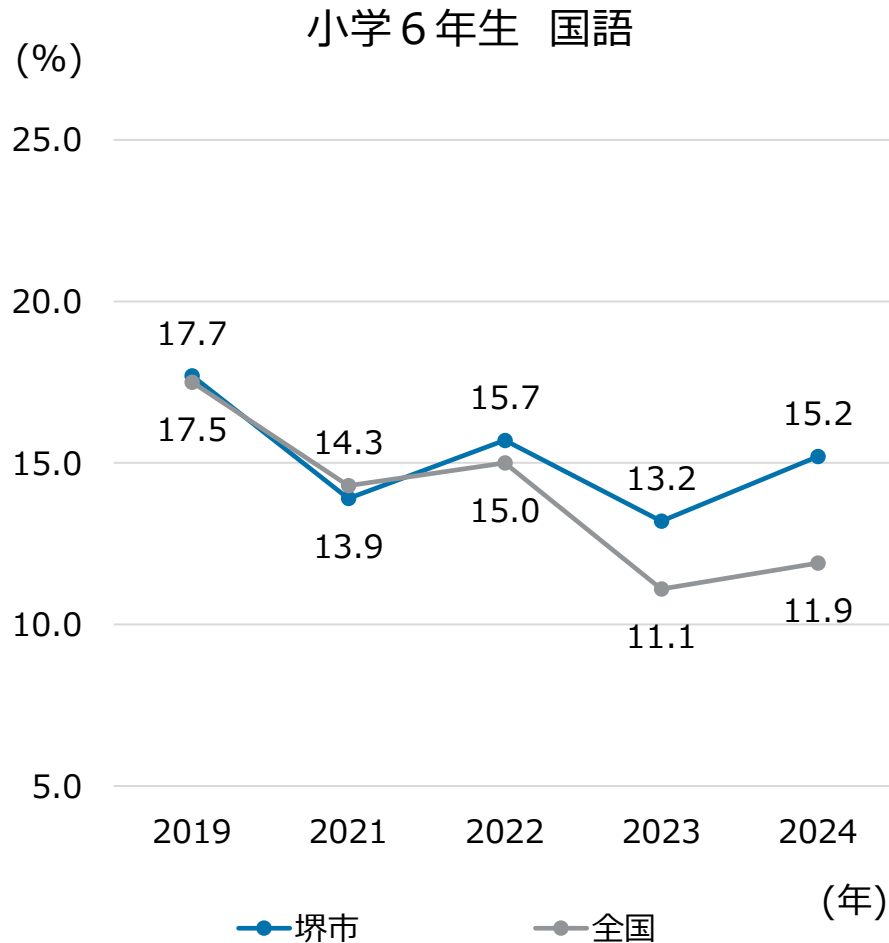
○ 全国と比較して、複数の情報を関連付けて考える問題の正答率が、全国と比較して下回っている。

※複数の情報を関連付けて考える問題とは、文章と図や表、会話文とリーフレットの文章など、複数の情報を組み合わせて考え、解答を導き出す問題のこと。



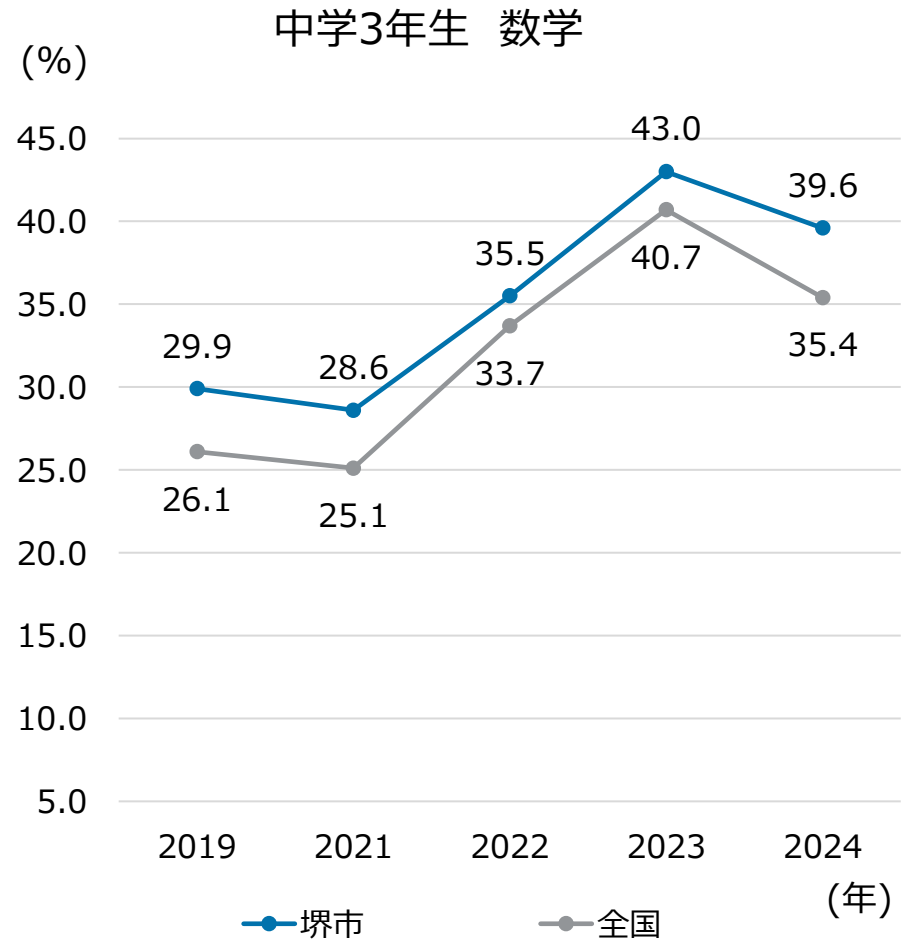
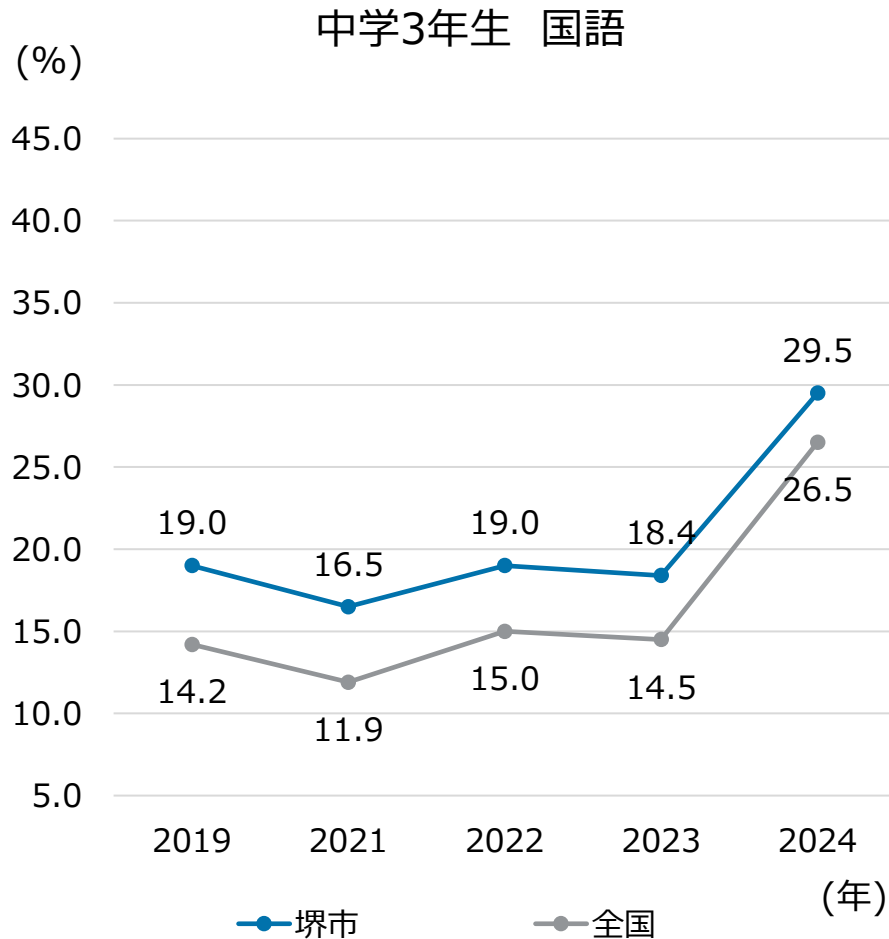
正答率40%未満の児童生徒の割合

- 小学6年生国語は、2023年まで減少傾向であったが、2024年は2023年から増加した。
- 小学6年生算数は、2021年以降増加傾向が続いている。



正答率40%未満の児童生徒の割合

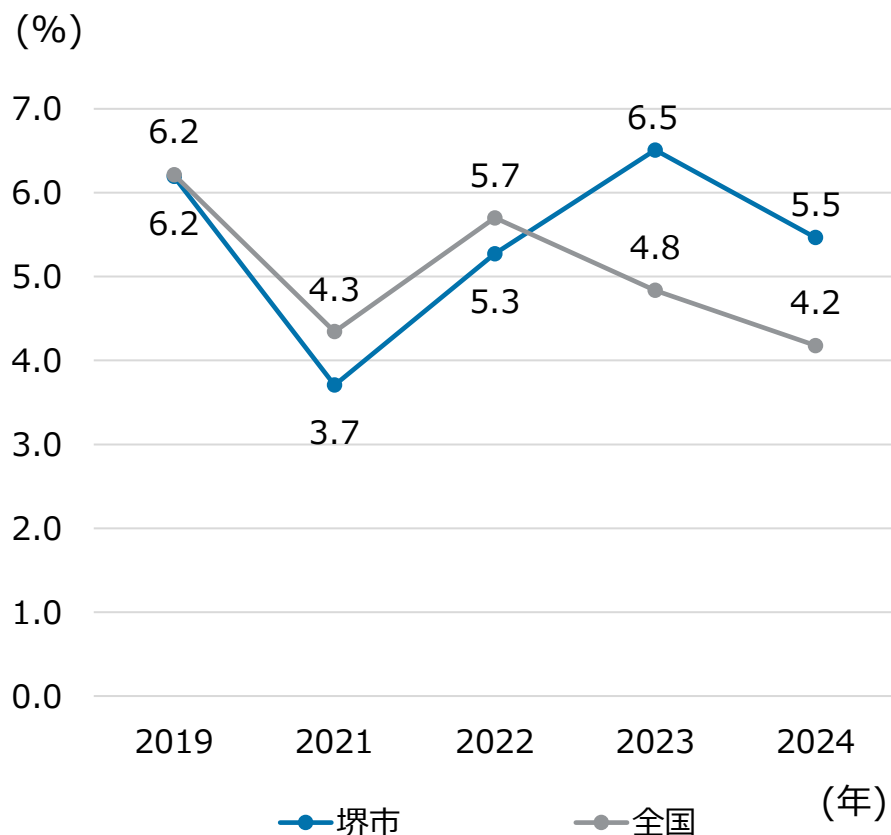
- 中学3年生国語は、上昇と低下を繰り返していたが、2023年から2024年は、11.1%増加した。
- 中学3年生数学は、2021年以降増加傾向にあったが2023年から2024年は、低下した。



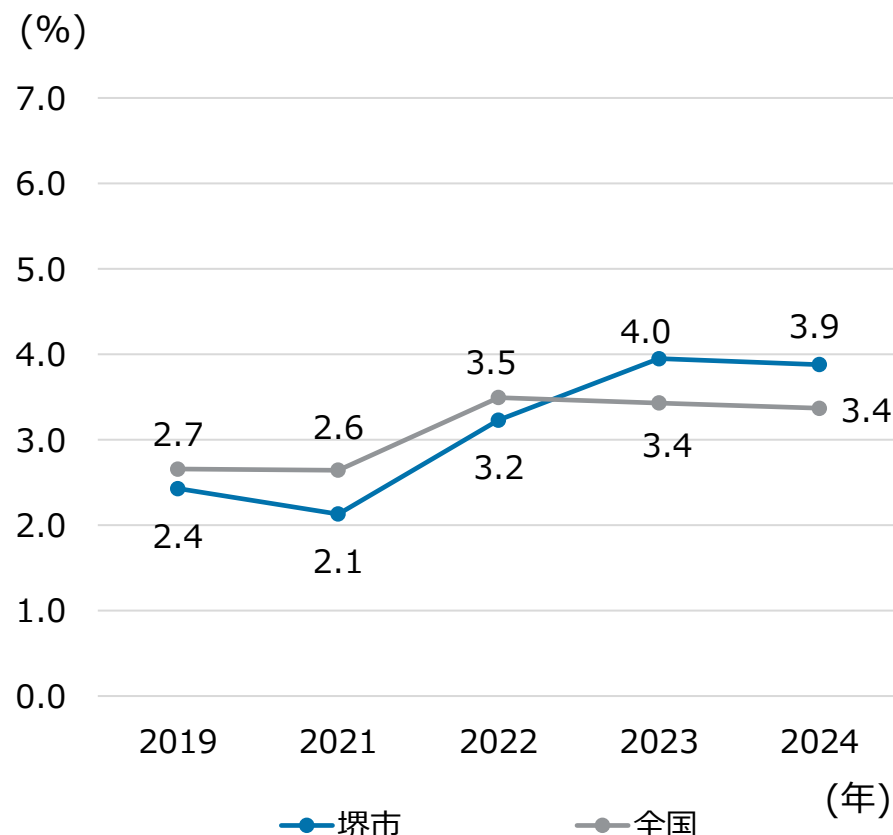
全国学力・学習状況調査の無解答率

- 小学6年生国語と算数は2022年以降から増加傾向で推移するが、2024年は2023年より減少。
- 国語、算数ともに全国平均を上回っている。

小学6年生 国語



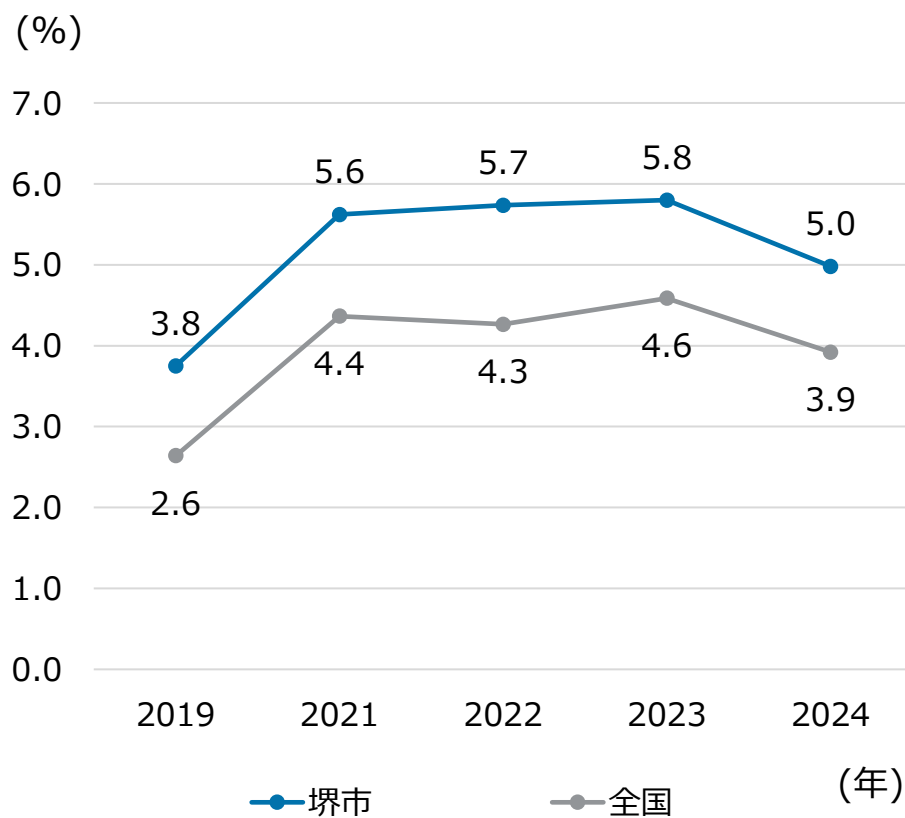
小学6年生 算数



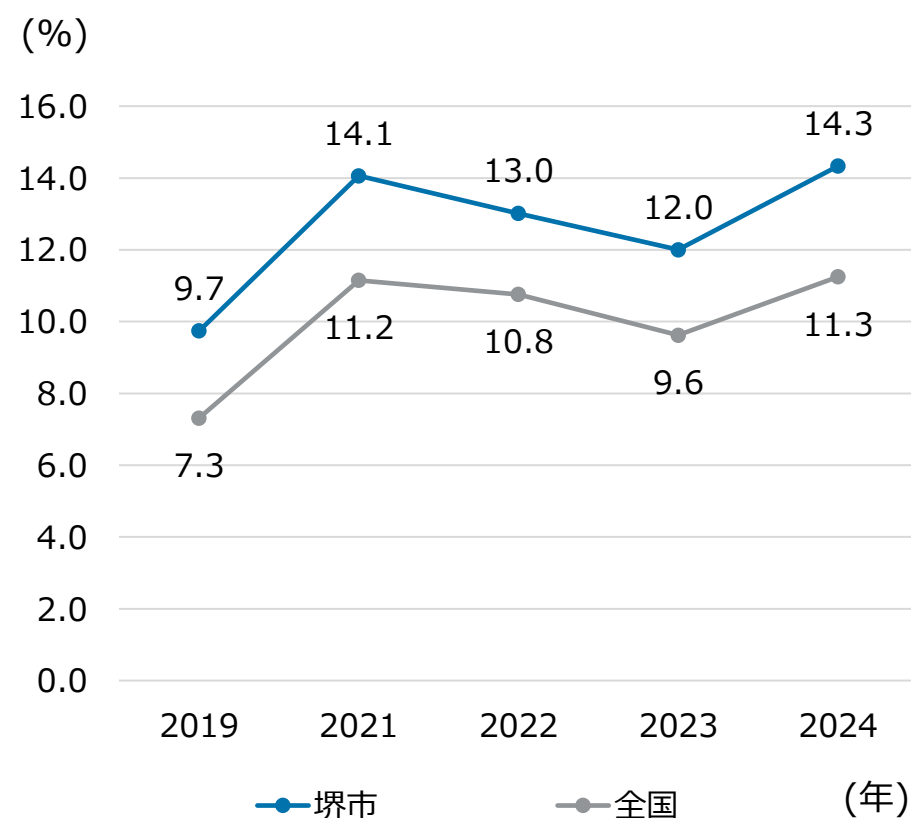
全国学力・学習状況調査の無解答率

- 中学3年生数学は、2022年から減少傾向で推移するが、2024年は2023年より増加。
- 国語、数学ともに無解答率が全国を上回っている。

中学3年生 国語

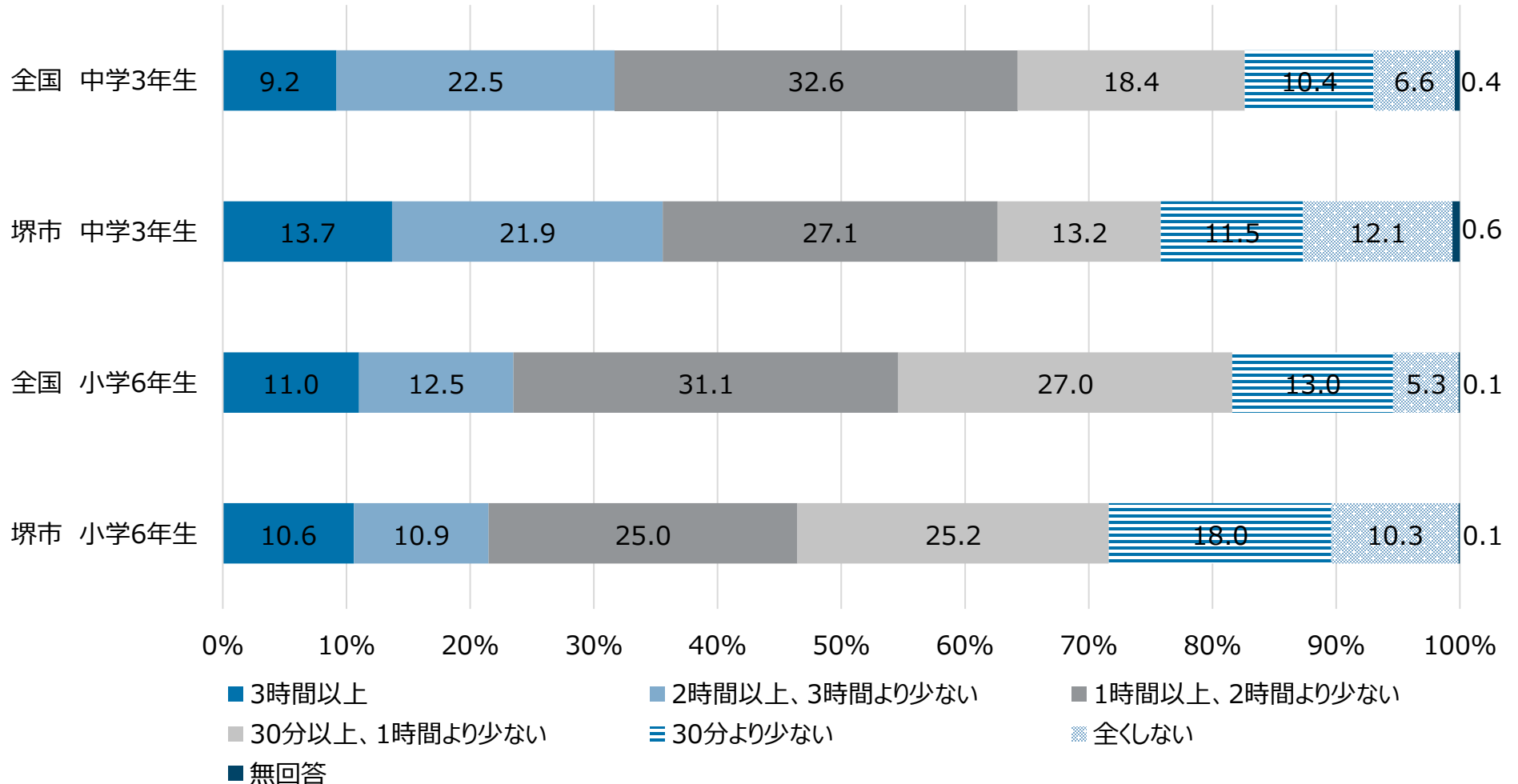


中学3年生 数学



児童生徒の1日当たりの学習時間

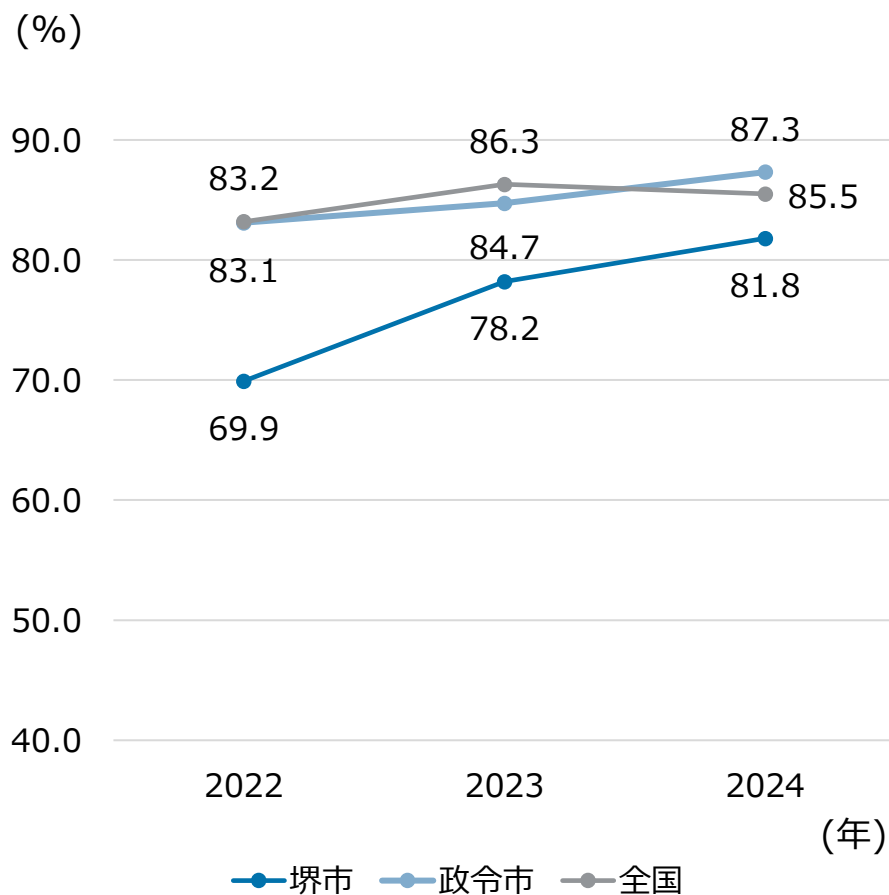
- 小学6年生では全国と比較して、30分より少ないと全くしないを合わせた割合が高い。
- 中学3年生では全国と比較して、2時間以上学習している時間の割合が高い。



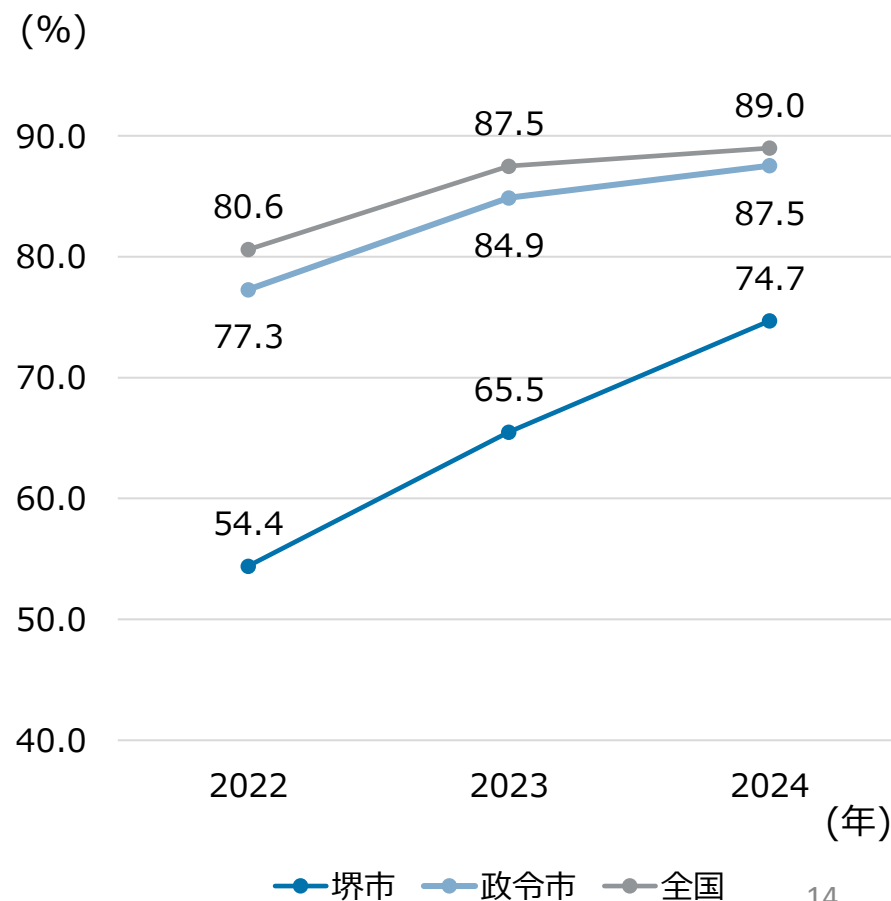
授業におけるPC・タブレットなどのICT機器の使用割合（週1回以上）

○小学6年生、中学3年生共に、数値は改善傾向にある一方、全国、政令市平均との差は依然としてある。

小学6年生

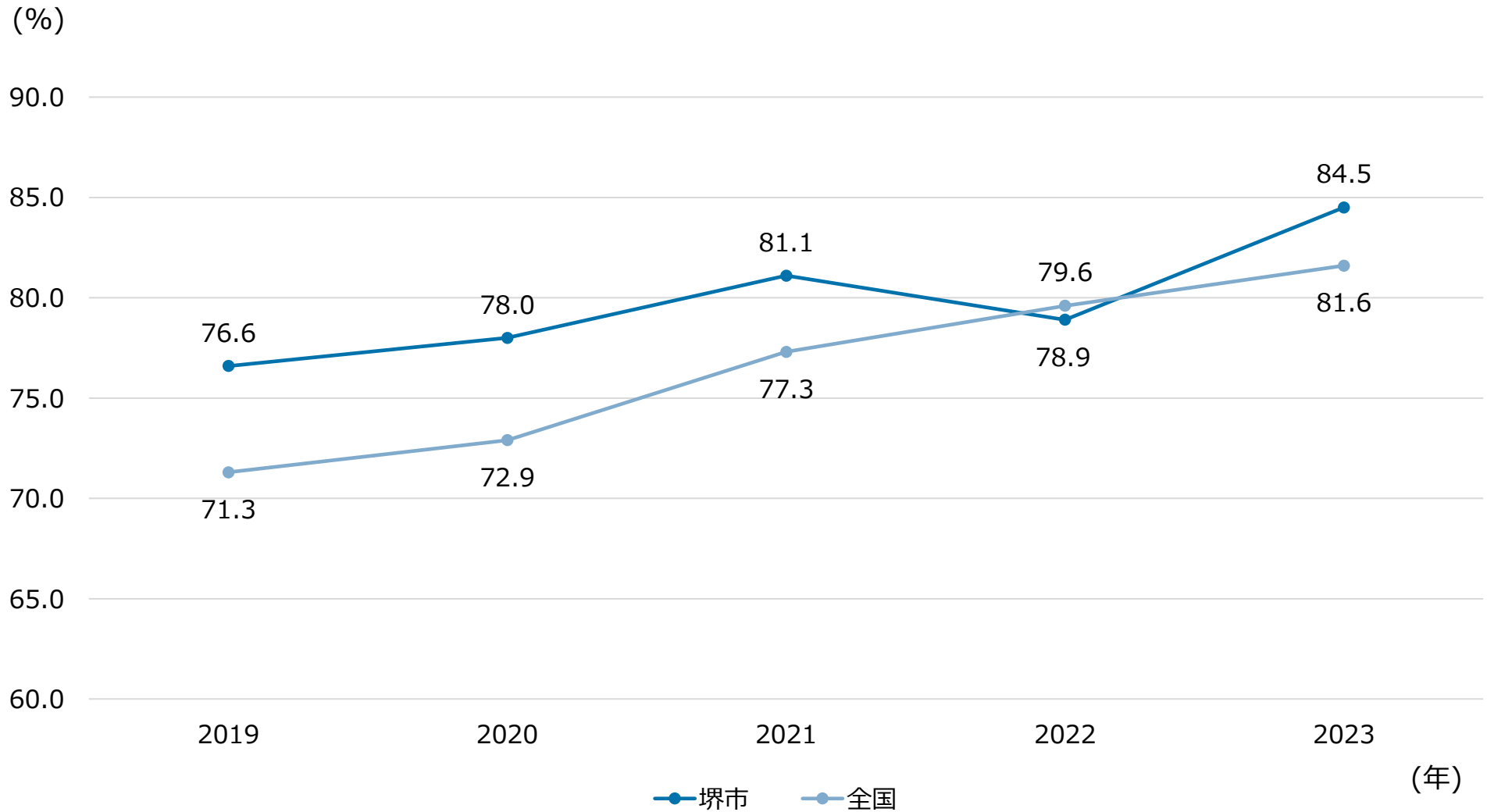


中学3年生



児童生徒のICT活用を指導する能力があると考える教員の割合

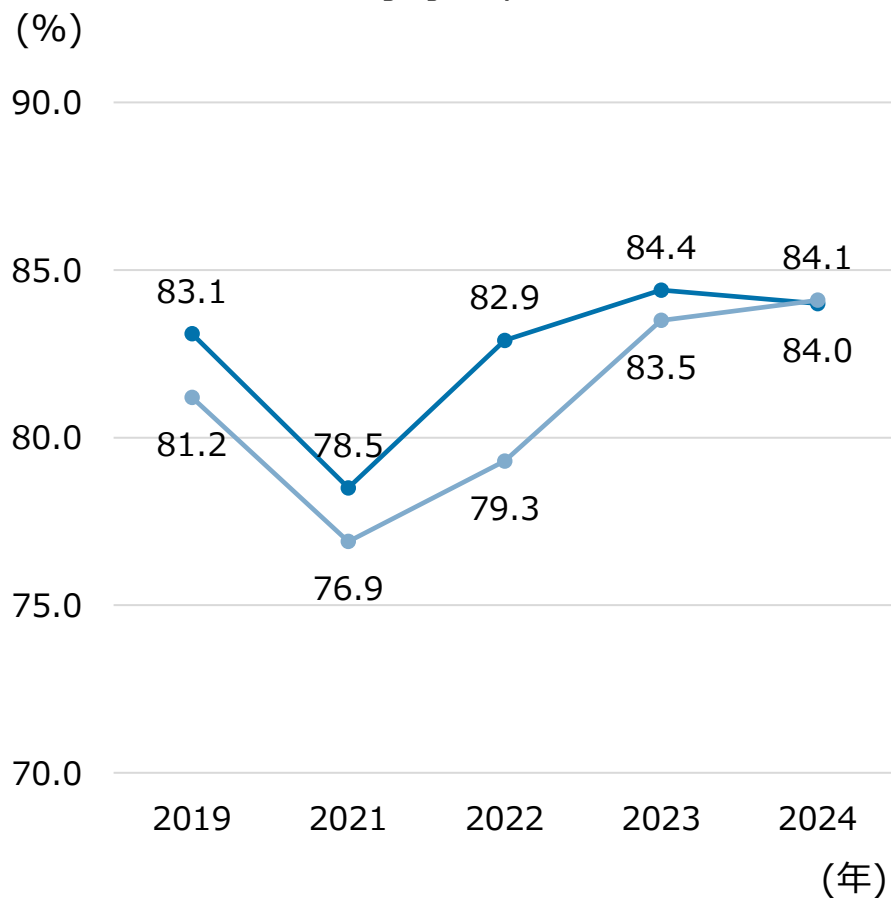
○ 2022年に減少したが、概ね増加傾向。



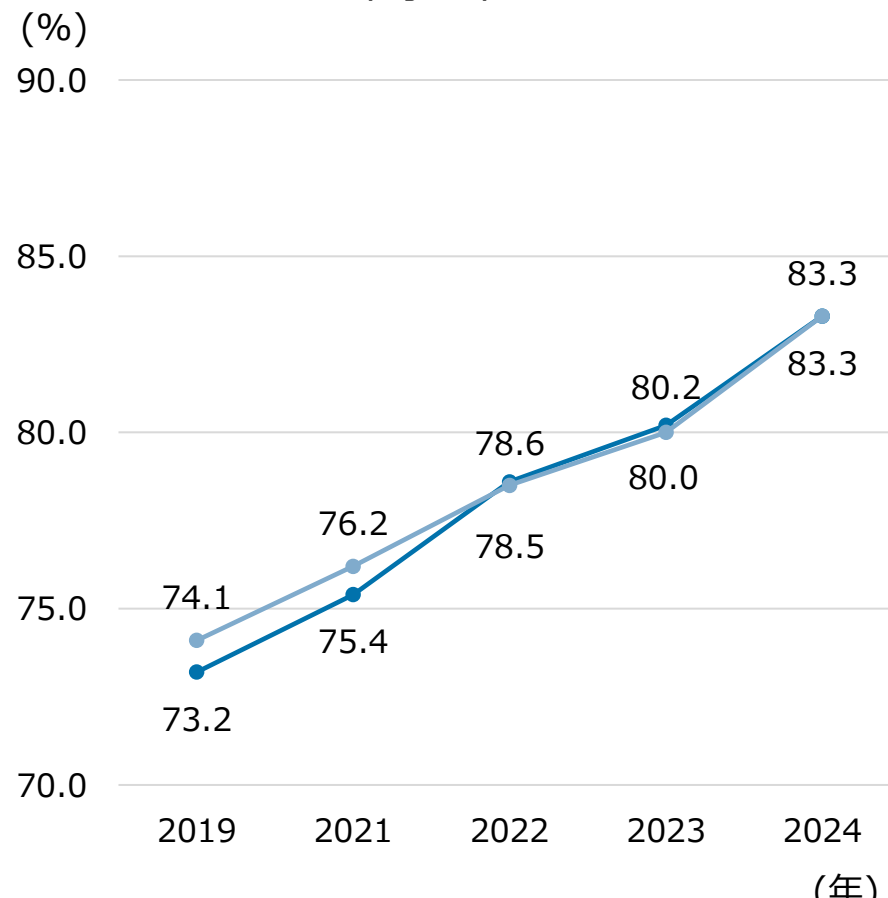
自分にはよいところがある（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）と答えた児童生徒の割合

- 本市の小学6年生では、2021年に減少したが、増加傾向に転じている
- 中学3年生では、全国同様、一貫して増加傾向である。

小学6年生



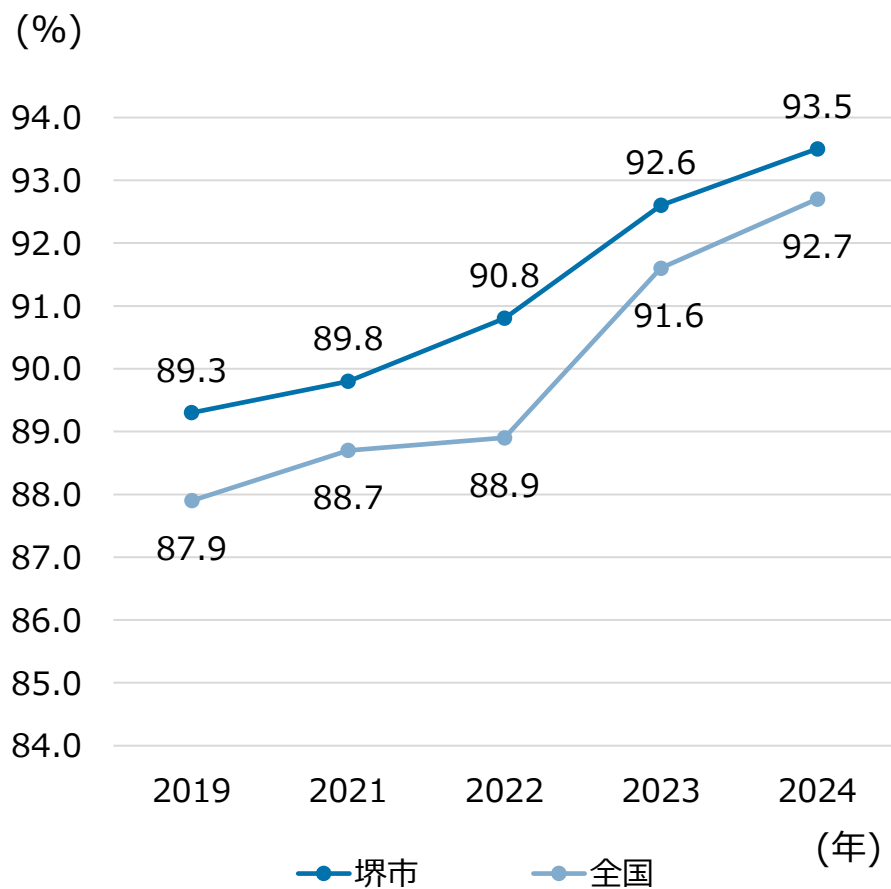
中学3年生



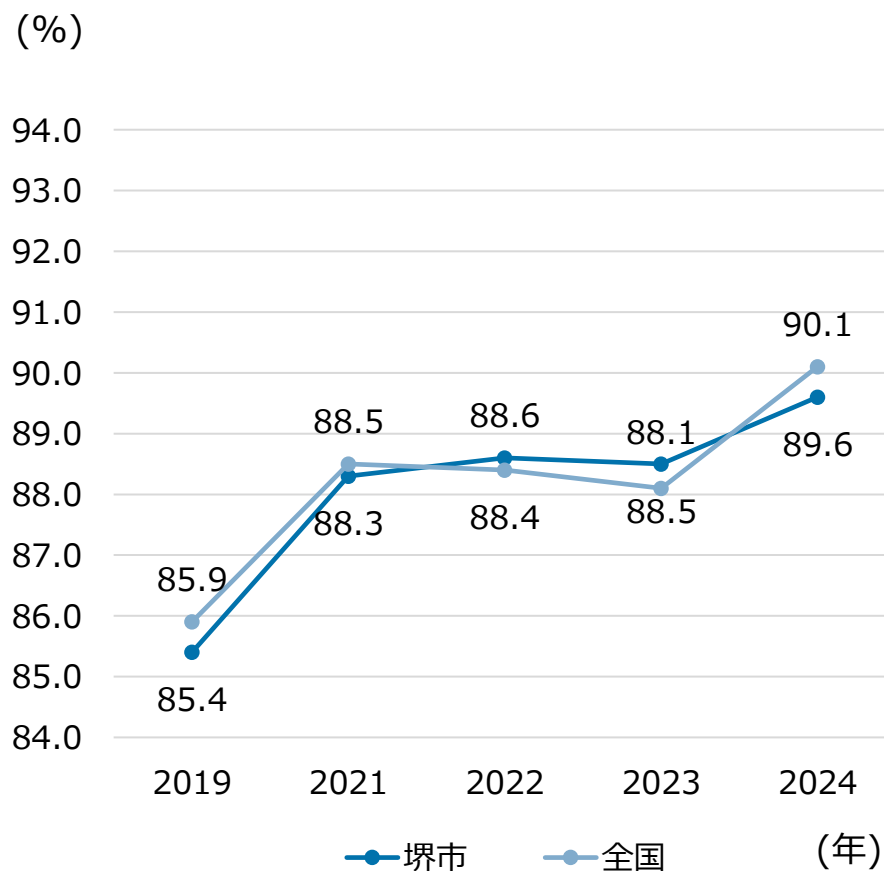
「人が困っているときは、進んで助けている
(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)」と答えた児童生徒の割合

- 小学6年生は、2019年から継続して、全国を上回る割合で推移
- 中学3年生は、全国を上回る形で推移

小学6年生

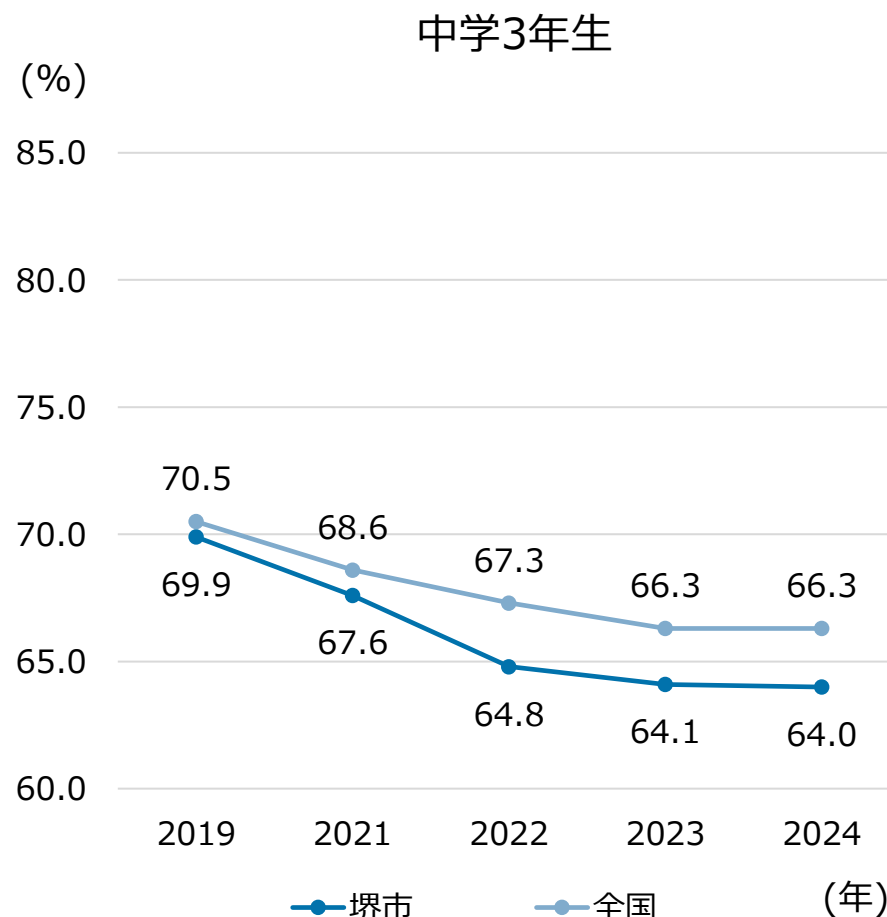
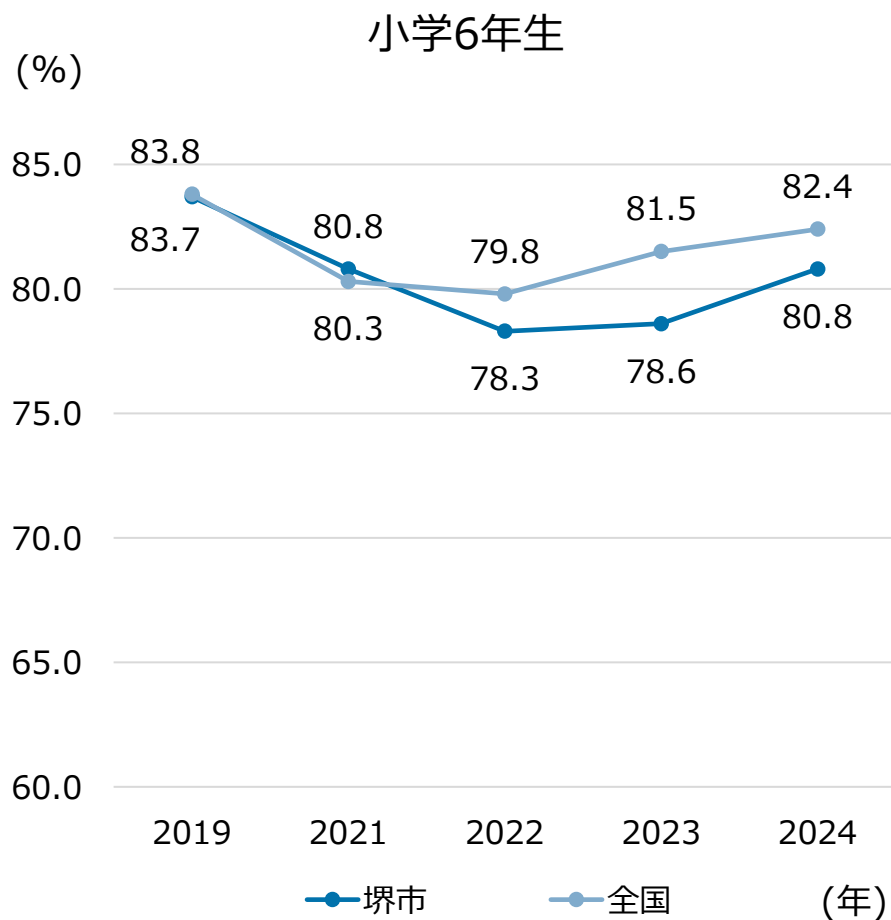


中学3年生



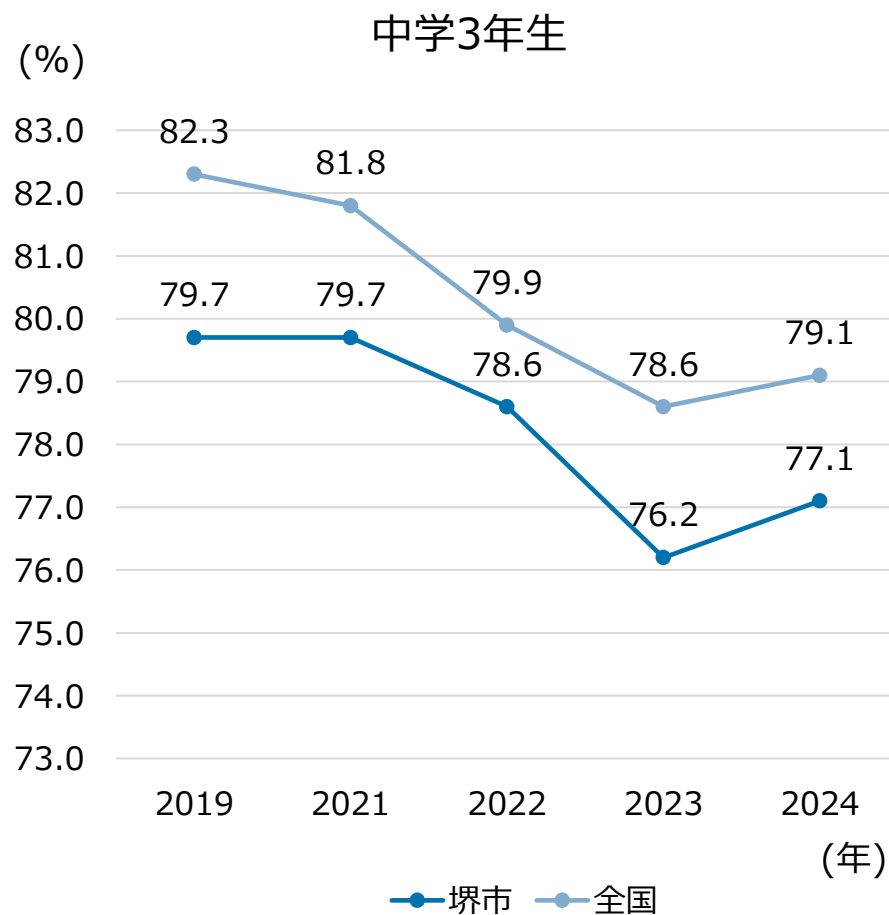
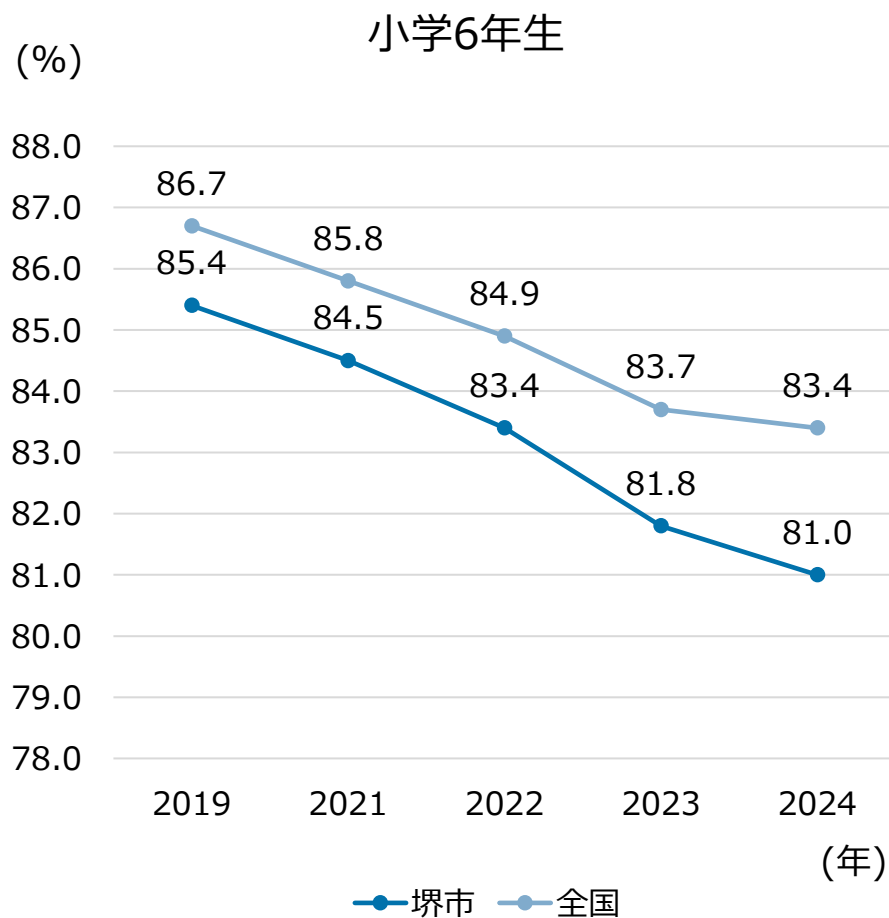
将来の夢や目標をもっている（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）と答えた児童生徒の割合

- 小学6年生は、2022年まで減少傾向が続くが、以降は増加傾向。
- 中学3年生は、2023年まで減少傾向が続き、2023年から2024年は横ばい。



毎日、朝食を食べていると回答した児童生徒の推移

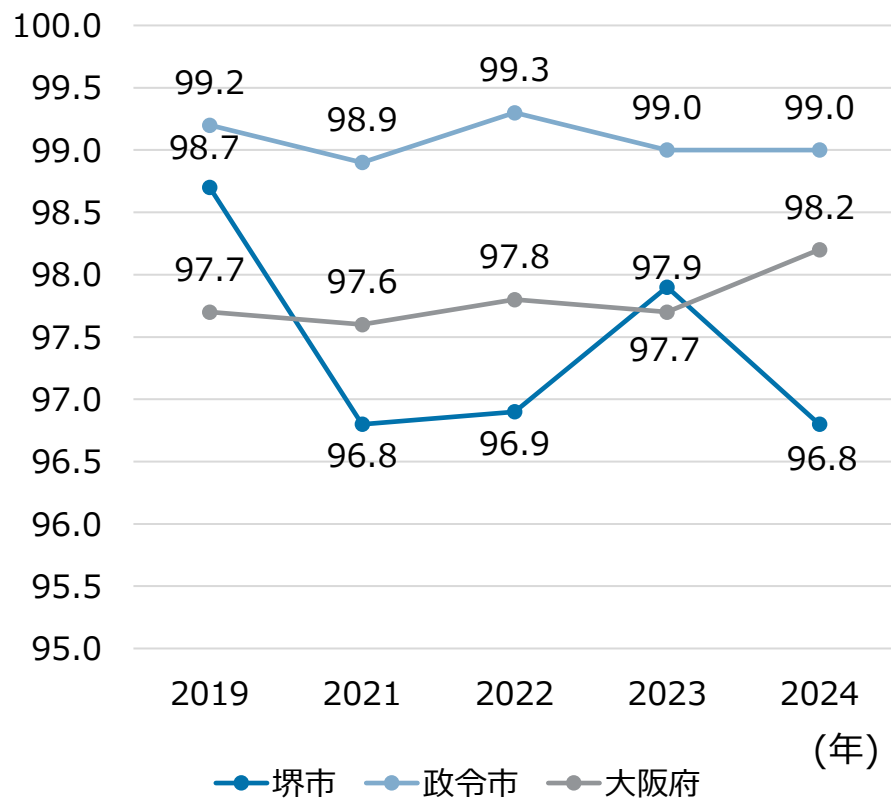
- 小学6年生において、毎日、朝食を食べている児童数は年々減少傾向にある
- 中学3年生については2023年から2024年で向上している。どちらも全国の水準には達していない。



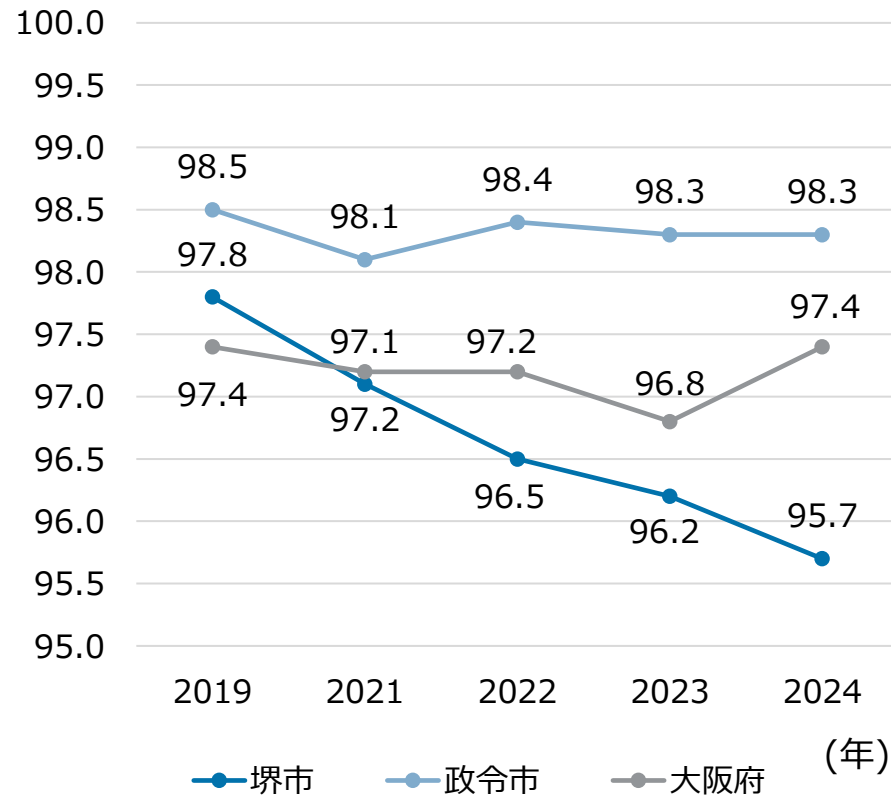
体力テストの平均点（小学5年生）

○ 本市の小学5年生男子は2024年に2023年よりも低下。

小学5年生 男子（全国を100とした場合）



小学5年生 女子（全国を100とした場合）

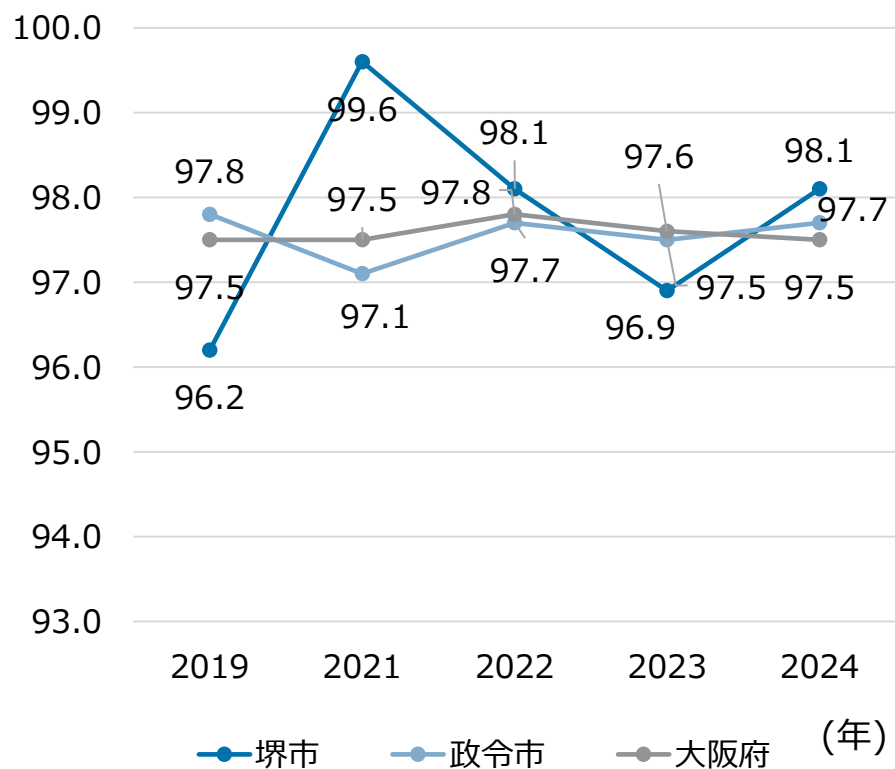


(資料) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

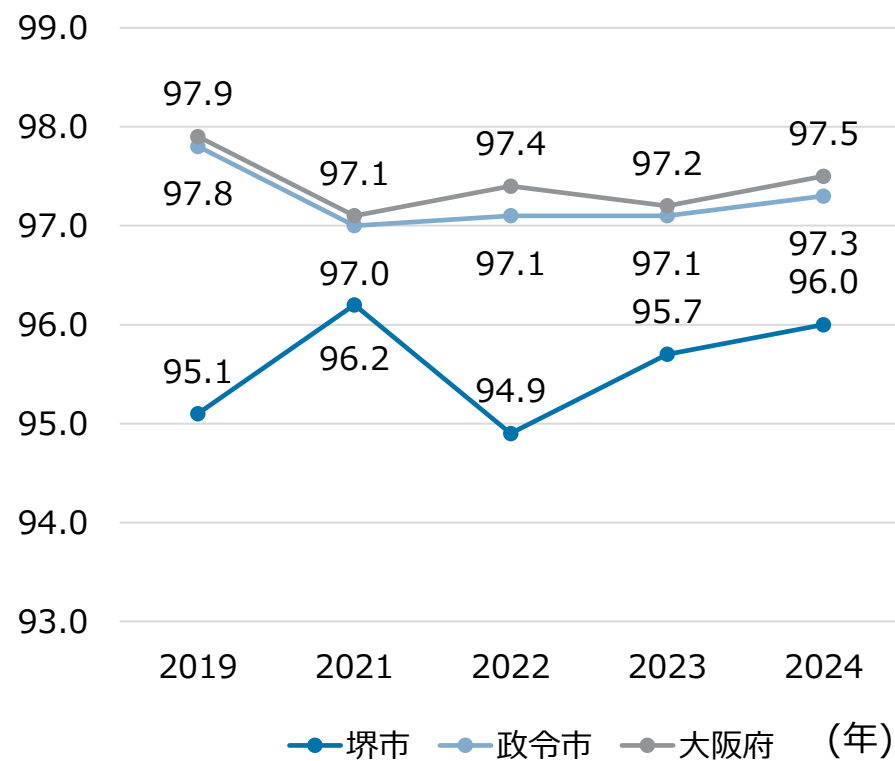
体力テストの平均点（中学2年生）

○ 本市の中学2年生男子は2024年に2023年よりも上昇。

中学2年生 男子（全国を100とした場合）

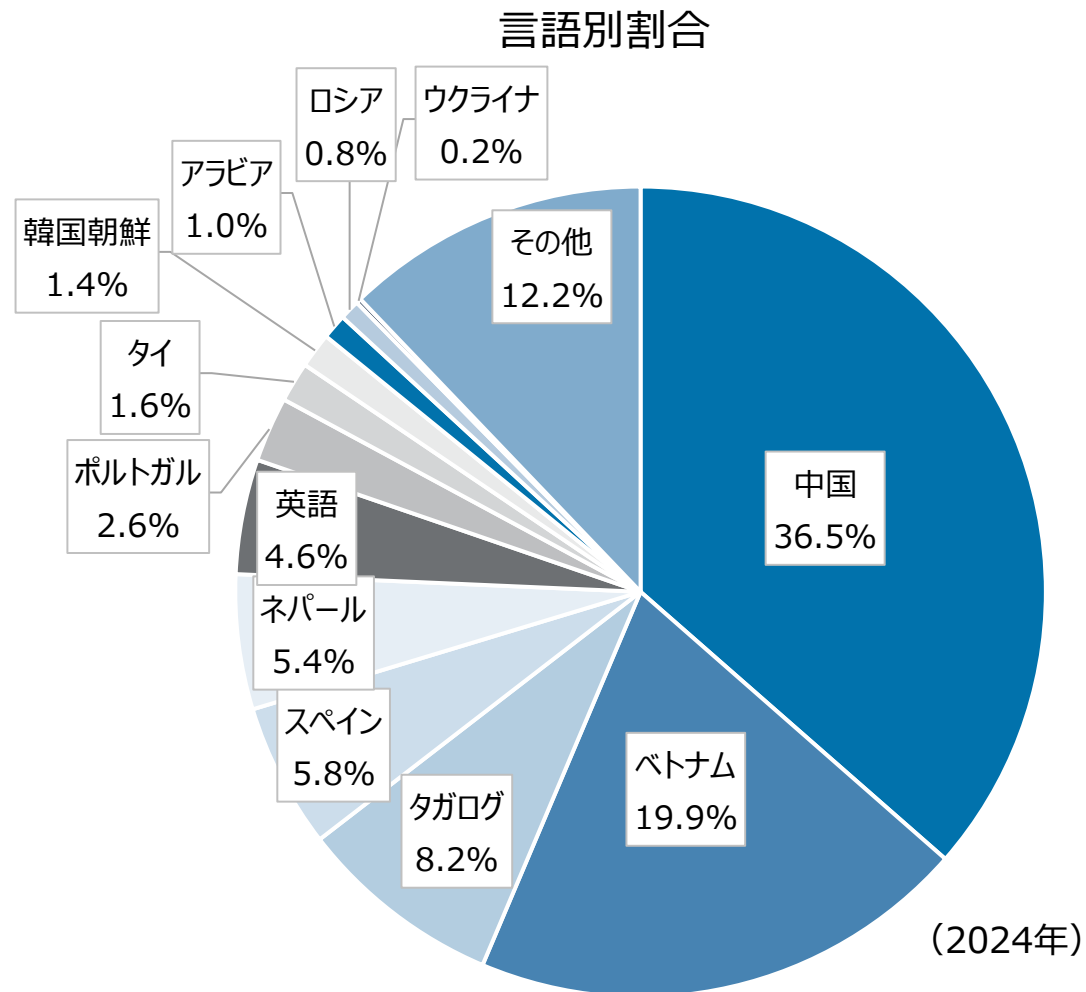
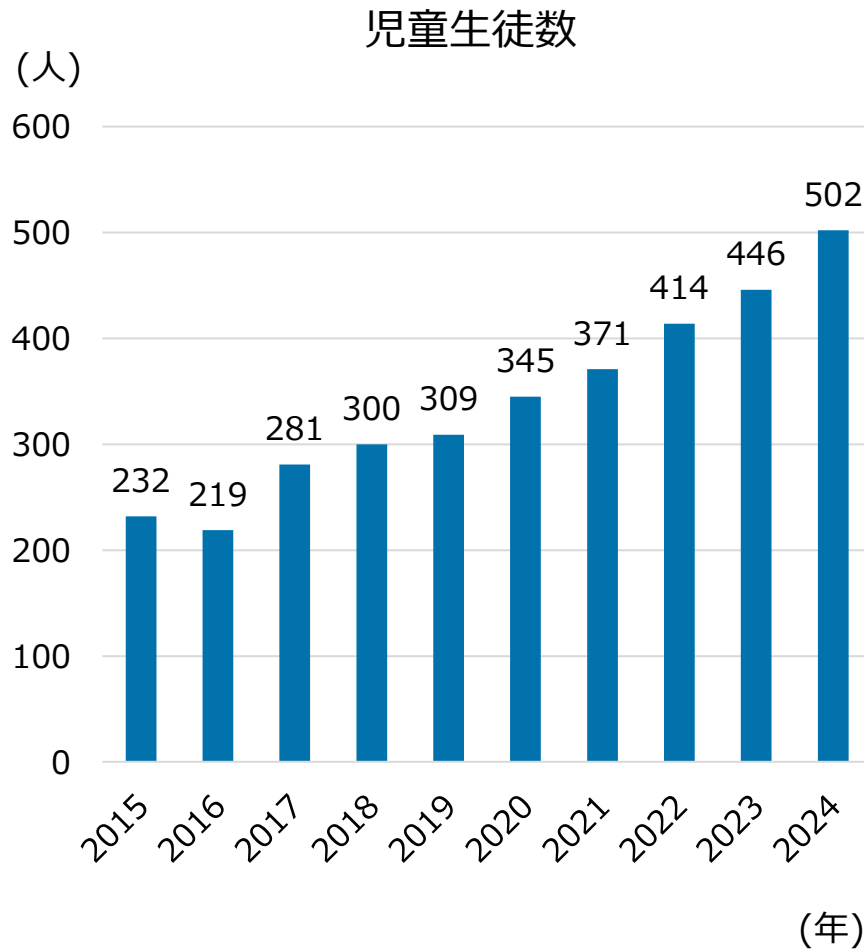


中学2年生 女子（全国を100とした場合）



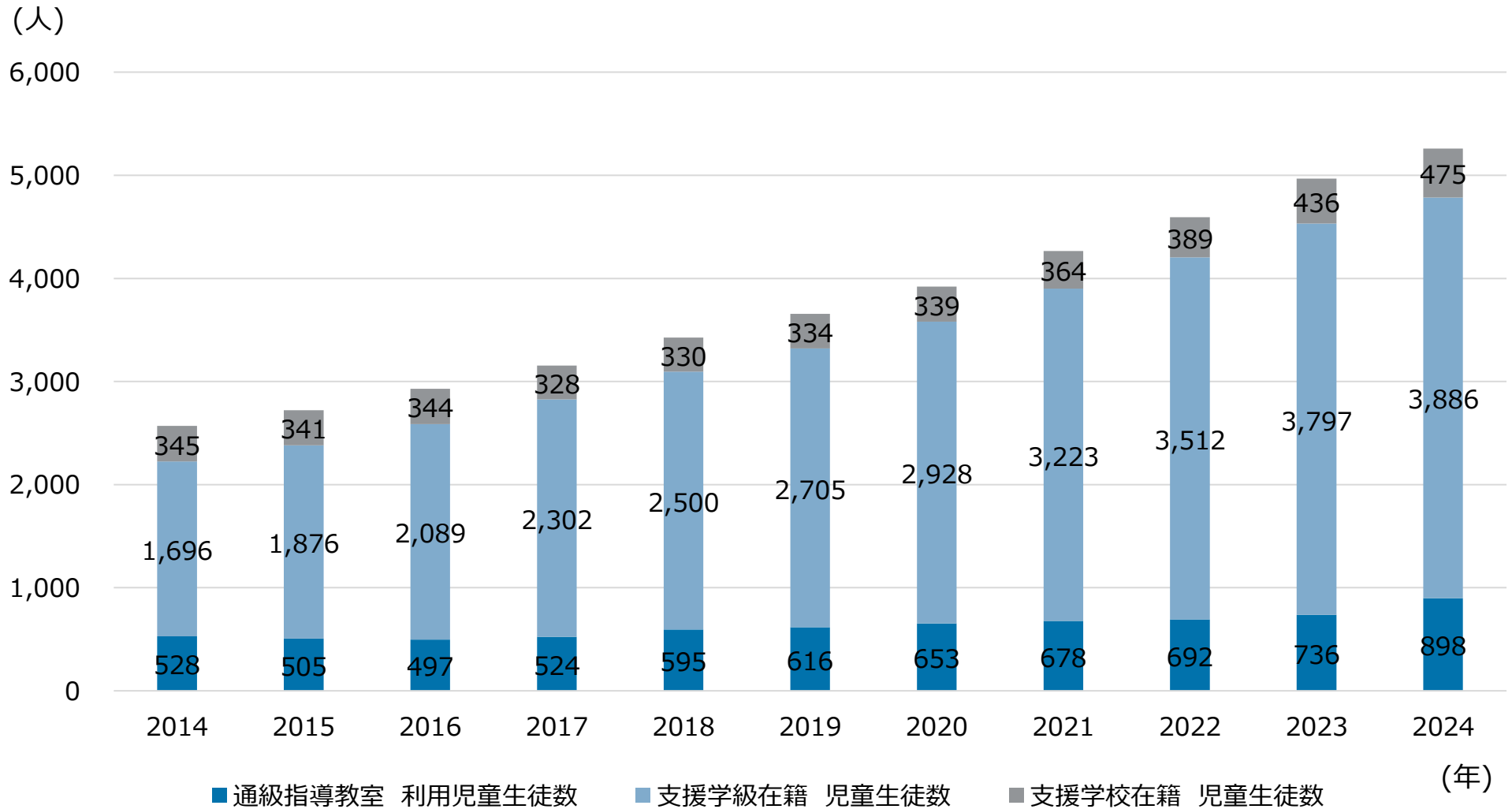
日本語指導を必要とする児童生徒数

○ 2017年以降、日本語指導を必要とする児童生徒数は年々増加傾向にあり、2016年と比較すると約2.3倍になっている。



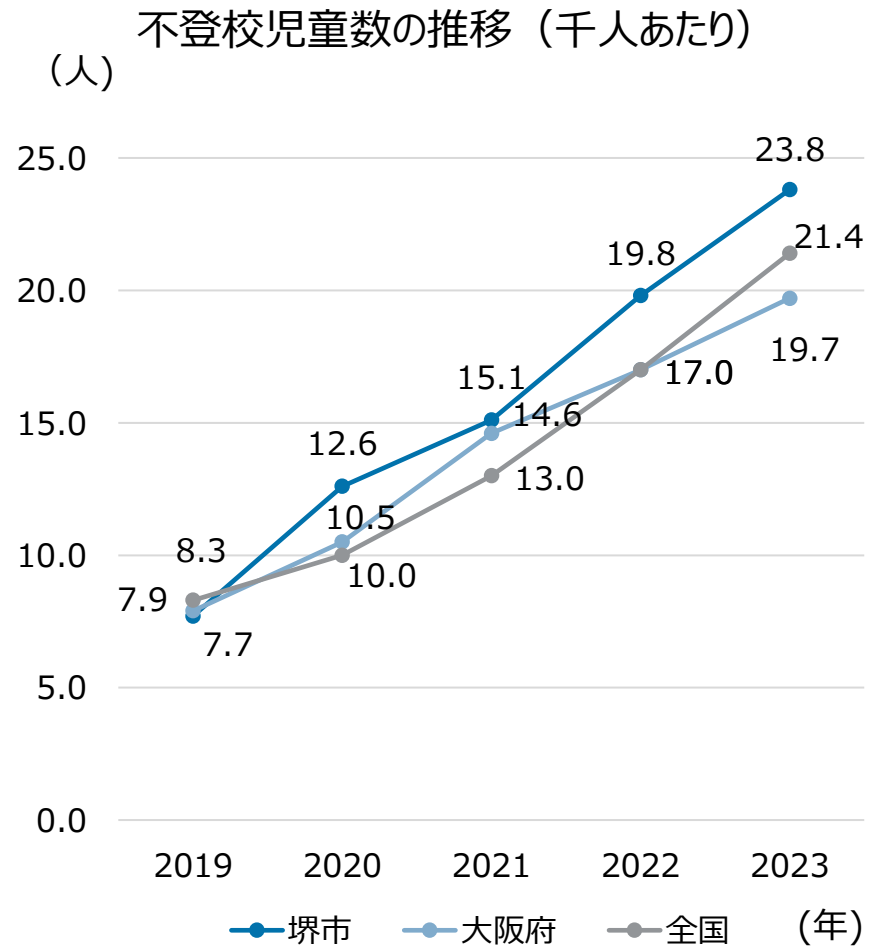
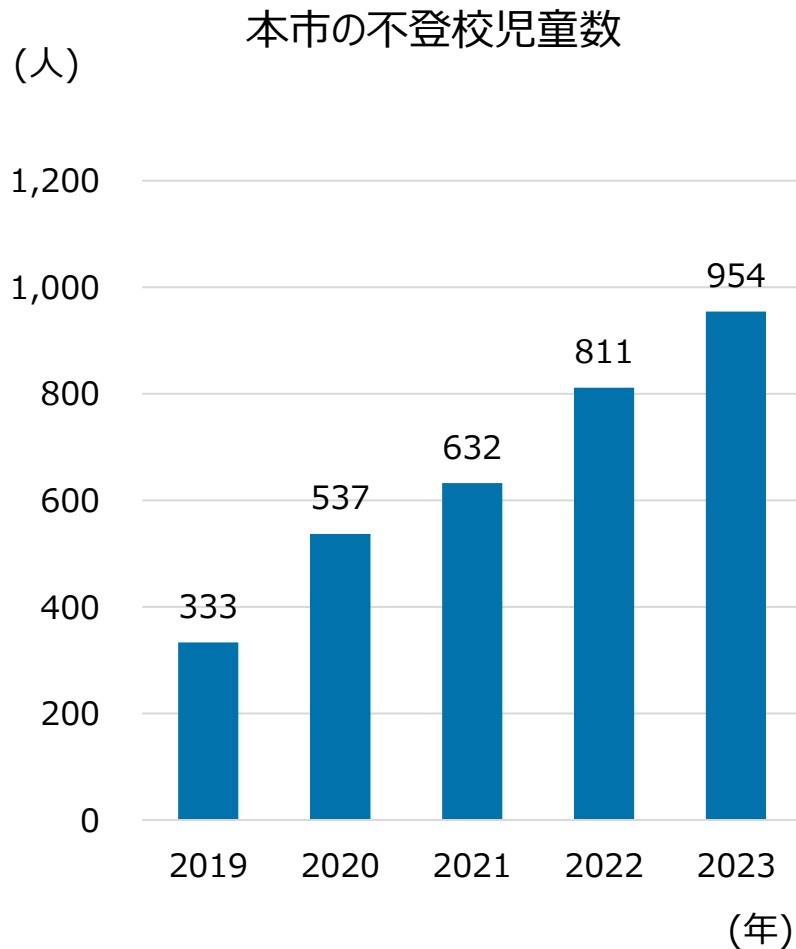
通級指導教室利用児童、 支援学級・支援学校在籍児童生徒数の推移

○ 支援学級等の利用・在籍児童生徒数は増加傾向で推移。



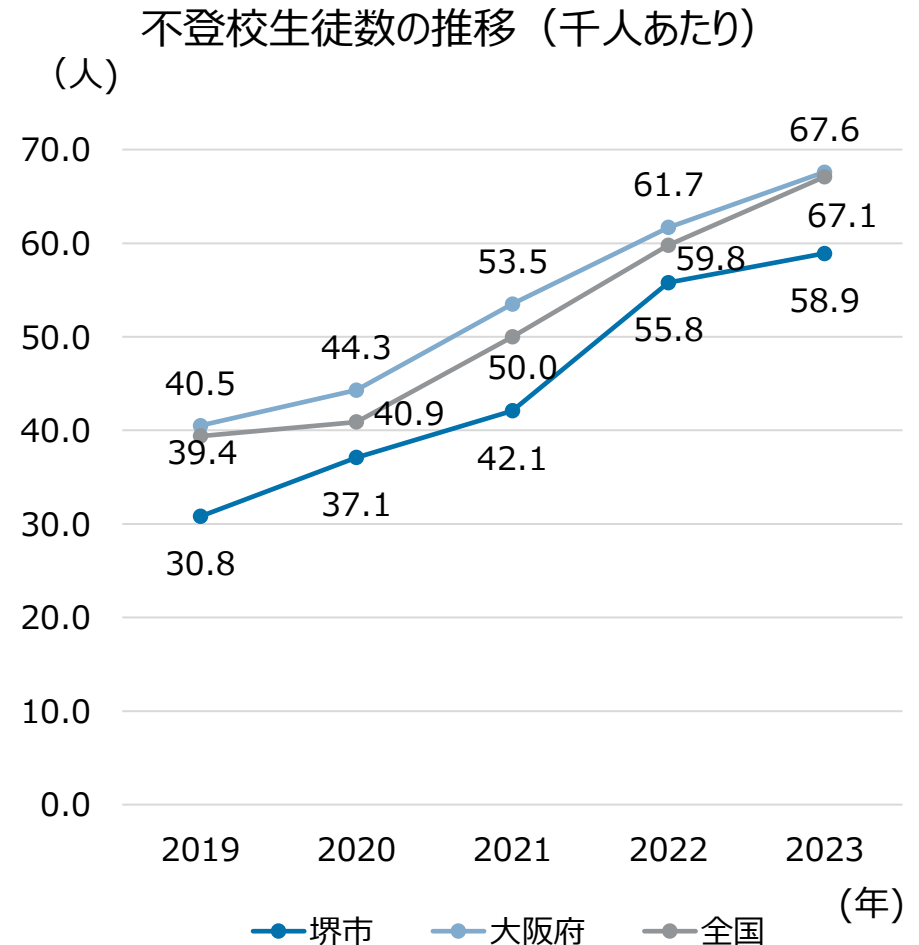
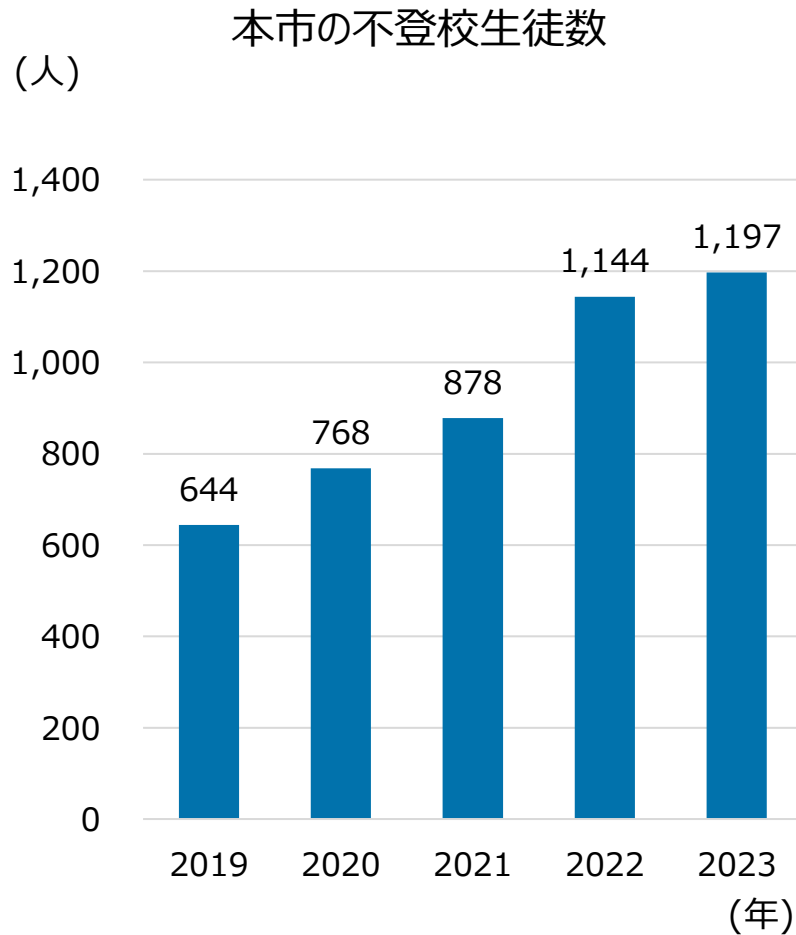
不登校児童数の推移

○ 2019年以降、不登校の児童数は増加し続けており、本市は全国や大阪府と比べても多い傾向が続いている。



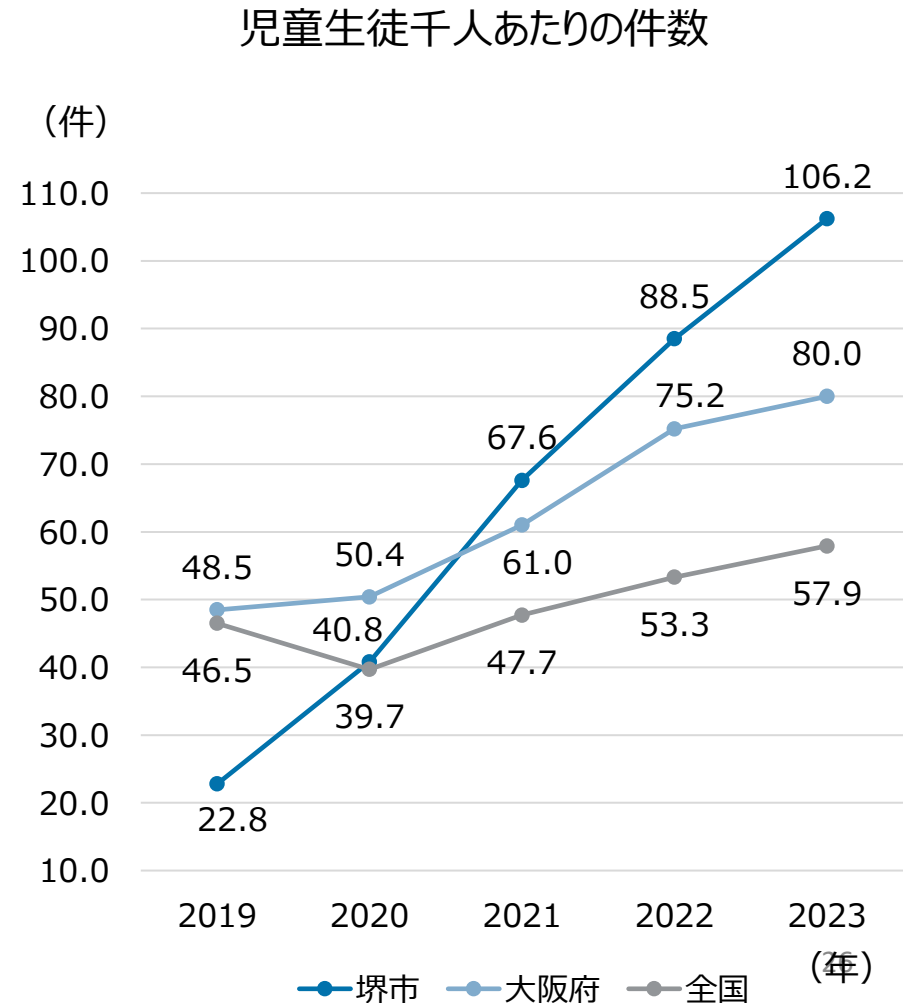
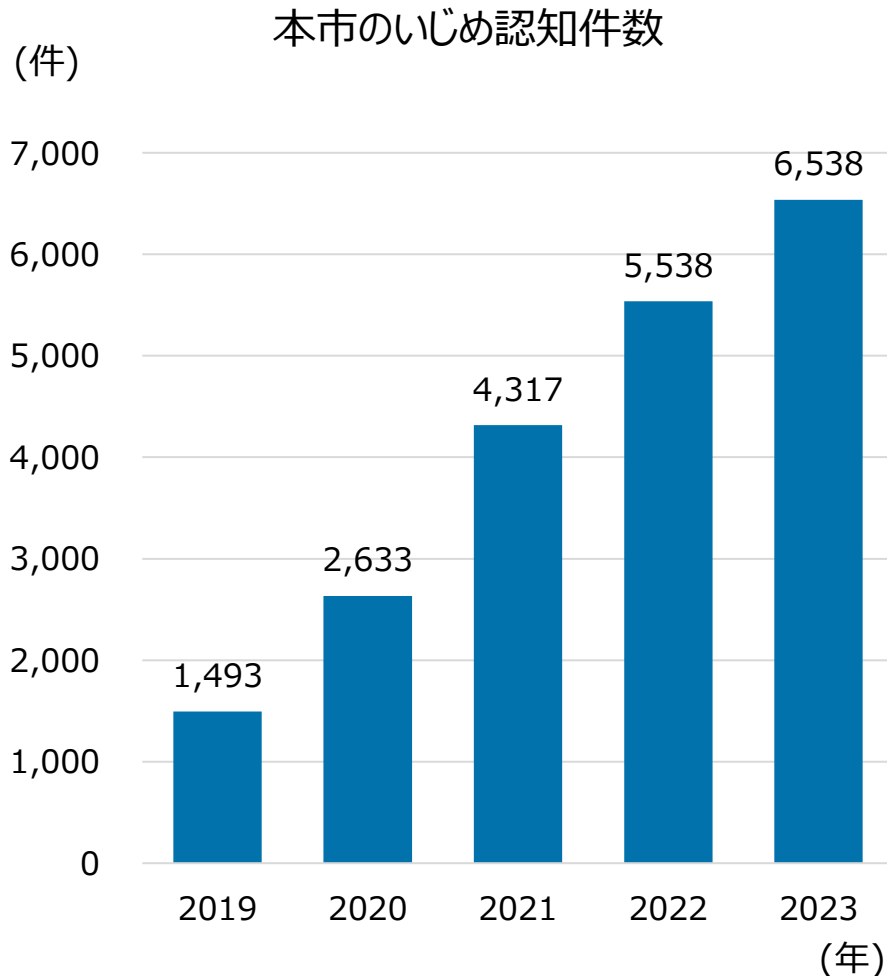
不登校生徒数の推移

○ 2019年以降、不登校の生徒数は増加し続けている。全国、大阪府の増加傾向と同様の動きを見せているが、2023年度、本市においては増加率が少し緩やかになっている。



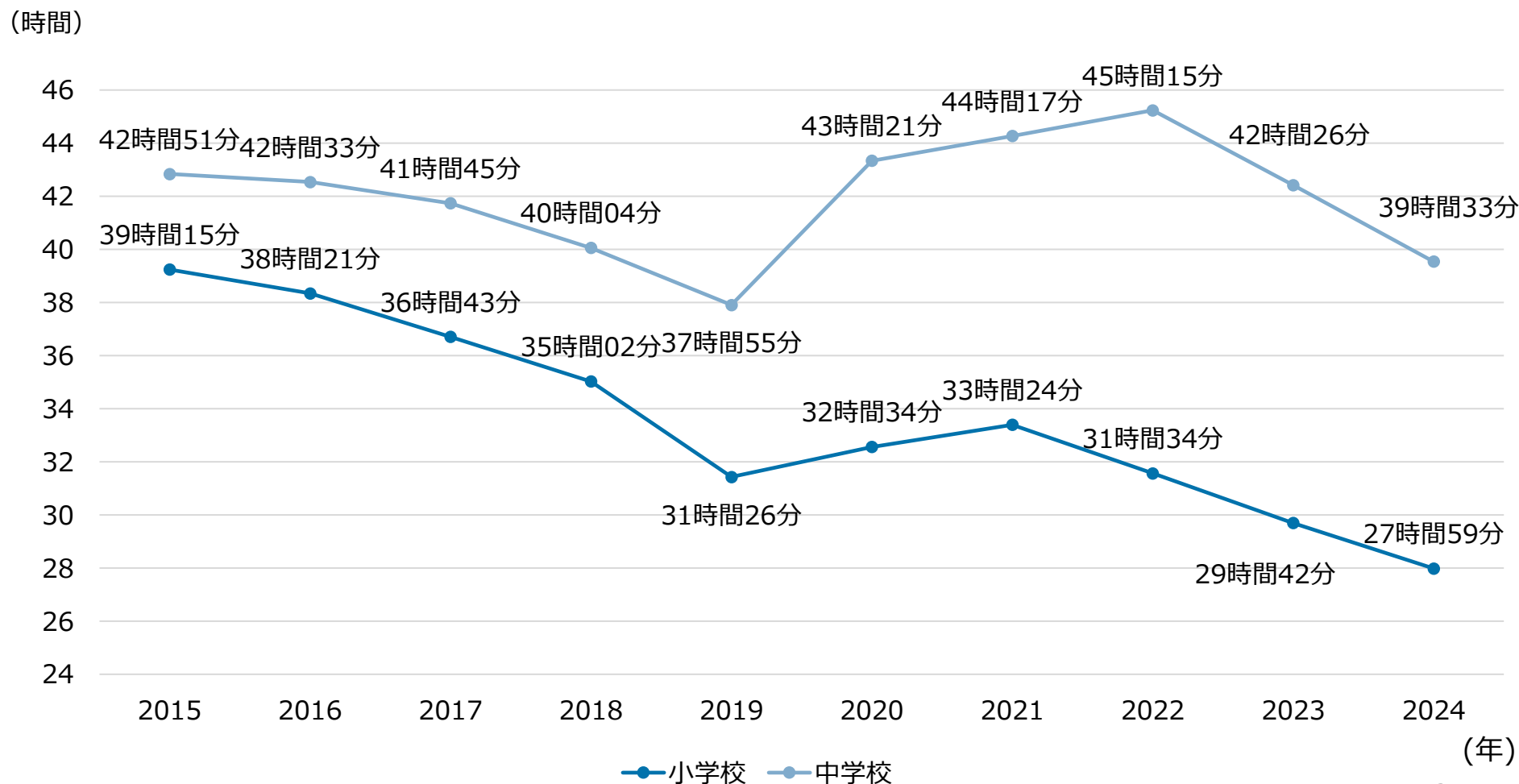
いじめ認知件数

○ いじめの認知件数は増加傾向にあり、児童生徒千人あたりのいじめ認知件数は2021年度以降、全国、大阪府を上回る水準で推移している



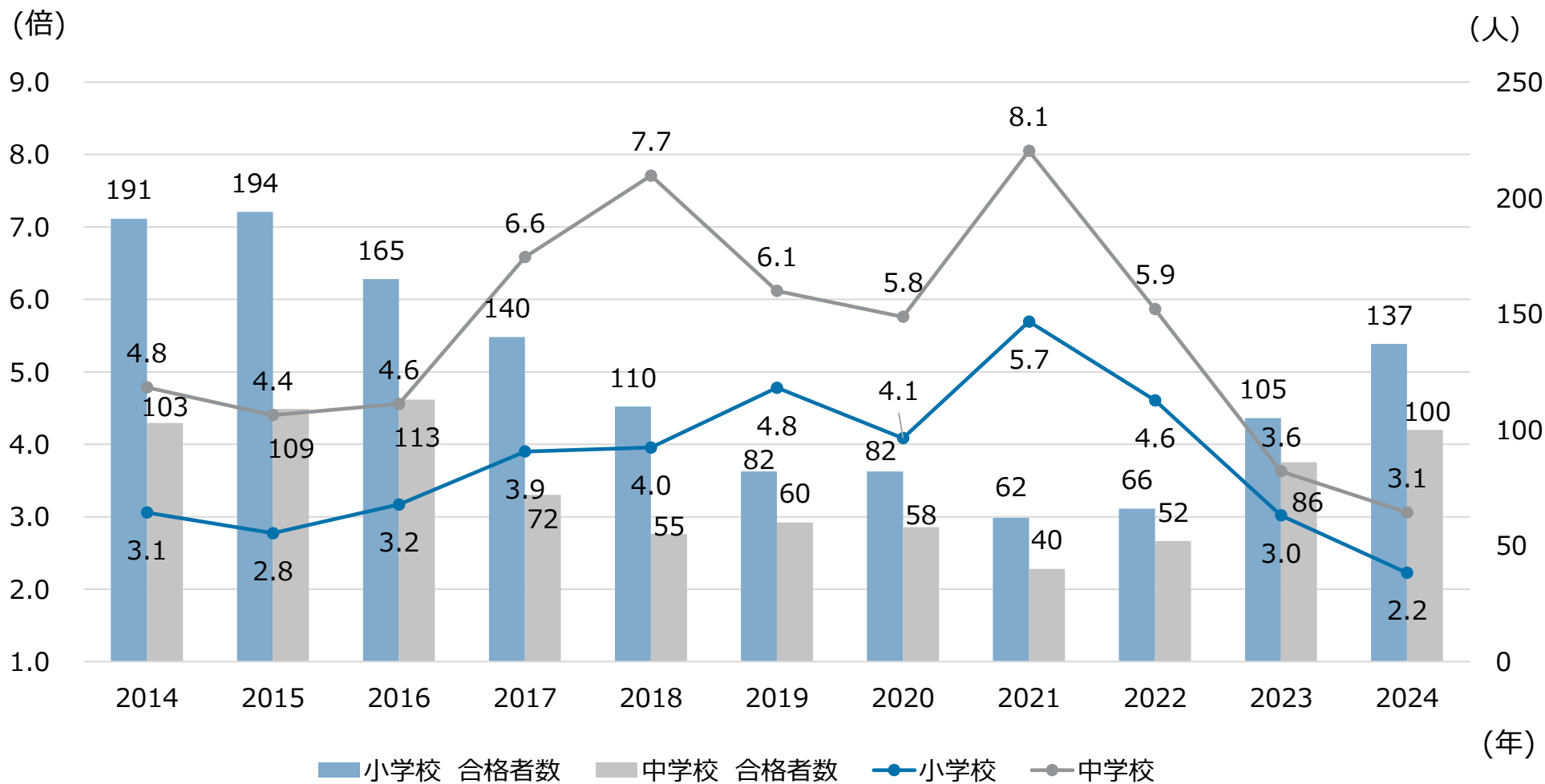
教職員の勤務時間外滞在時間（月平均）

○ 小学校・中学校のどちらも2019年以降増加傾向だったが、小学校では2021年、中学校では2022年以降、減少傾向にある。



教員採用選考試験（小・中）の受験倍率の推移

○ 小学校・中学校どちらの受験倍率においても、2022年以降は、合格者数の増加に伴う低下がみられる。

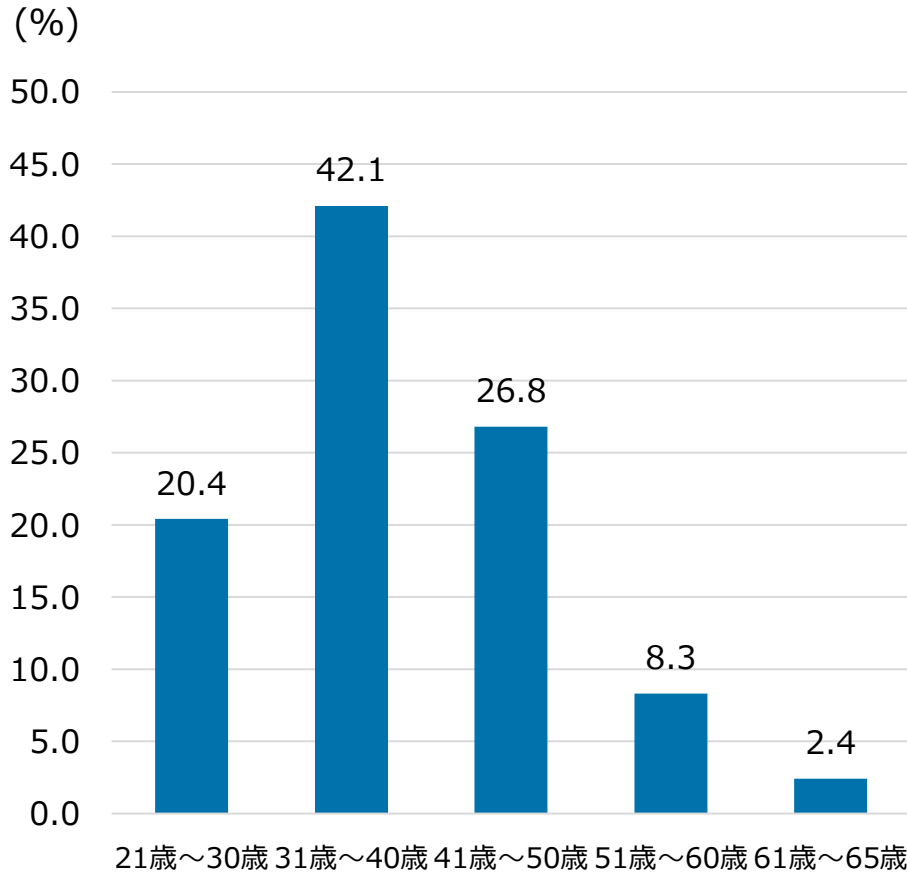


本市教員の年齢構成

○ 小学校、中学校のどちらにおいても、31歳～40歳の教員が最も多く、次いで41歳～50歳であるなど、校種によって教員の年齢構成は大きく変わらない。

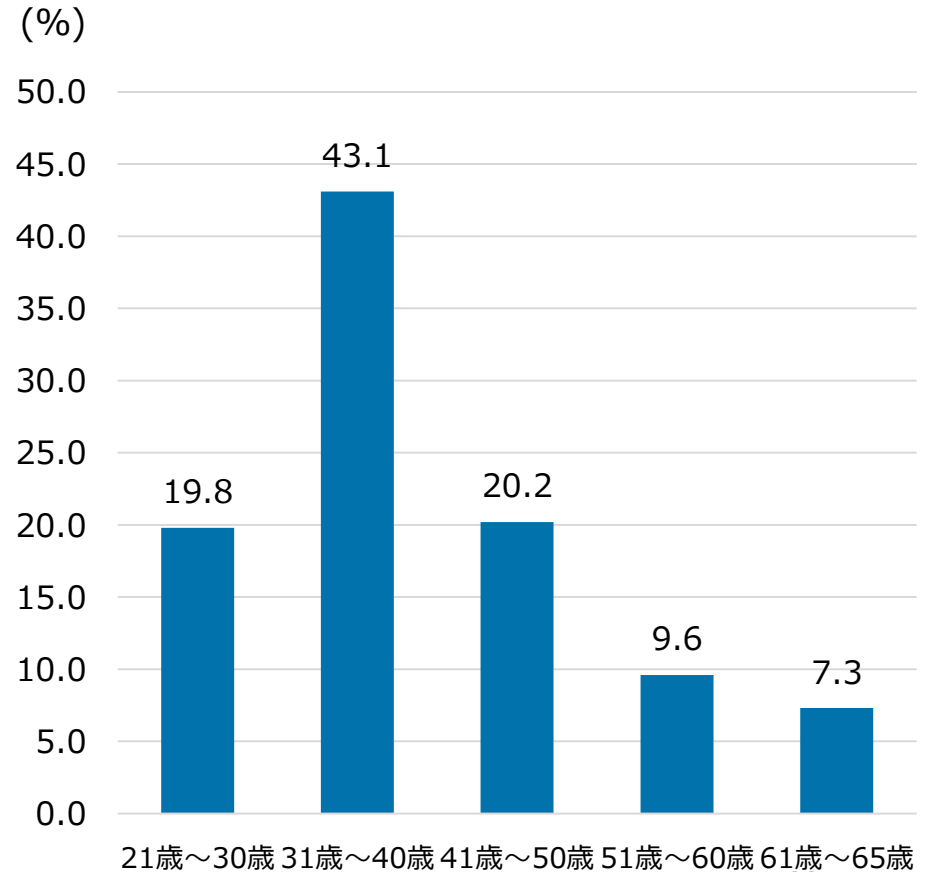
小学校

(管理職・主幹教諭・指導教諭を含む)



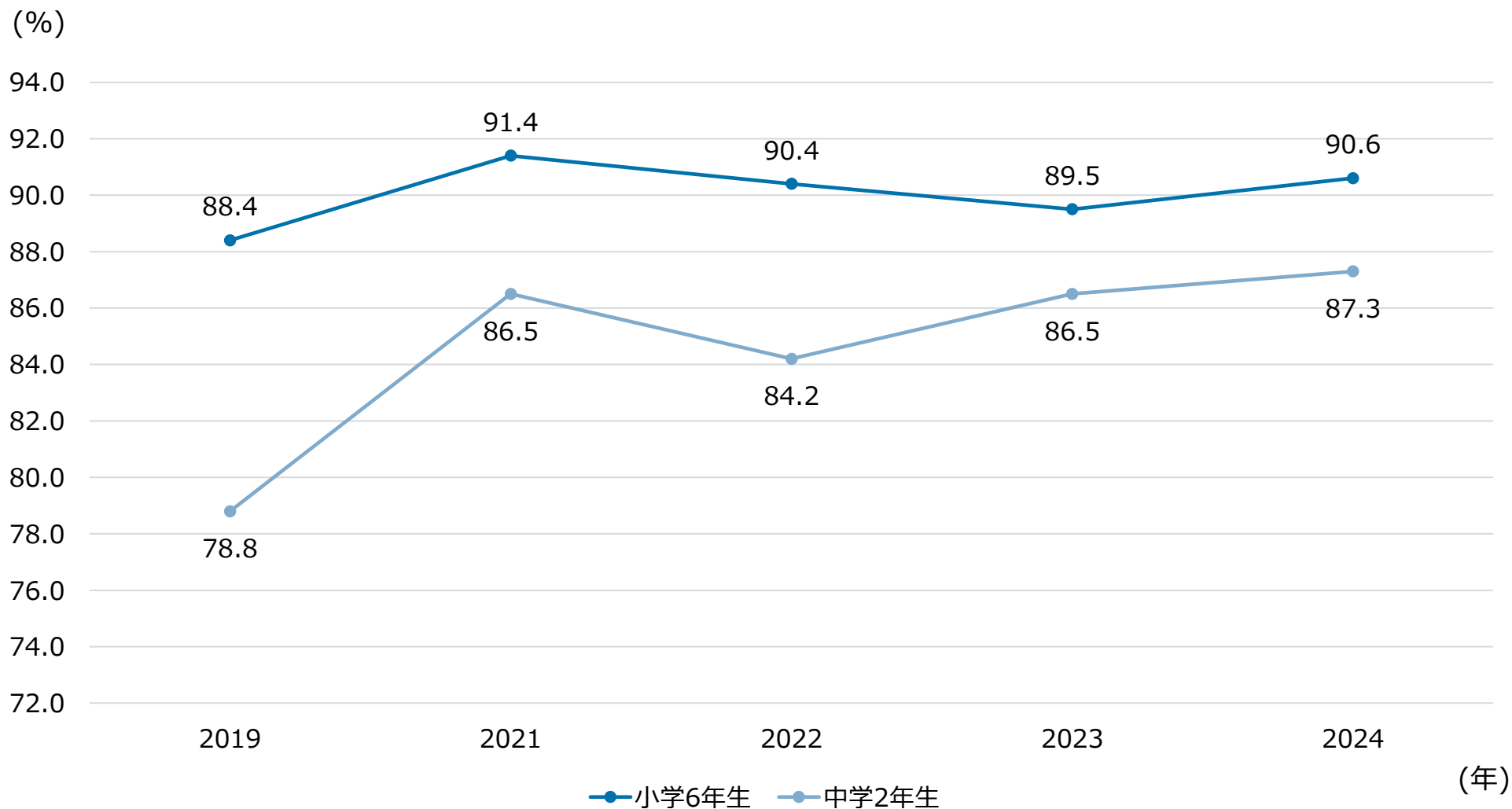
中学校

(管理職・主幹教諭・指導教諭を含む)



「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれる（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合

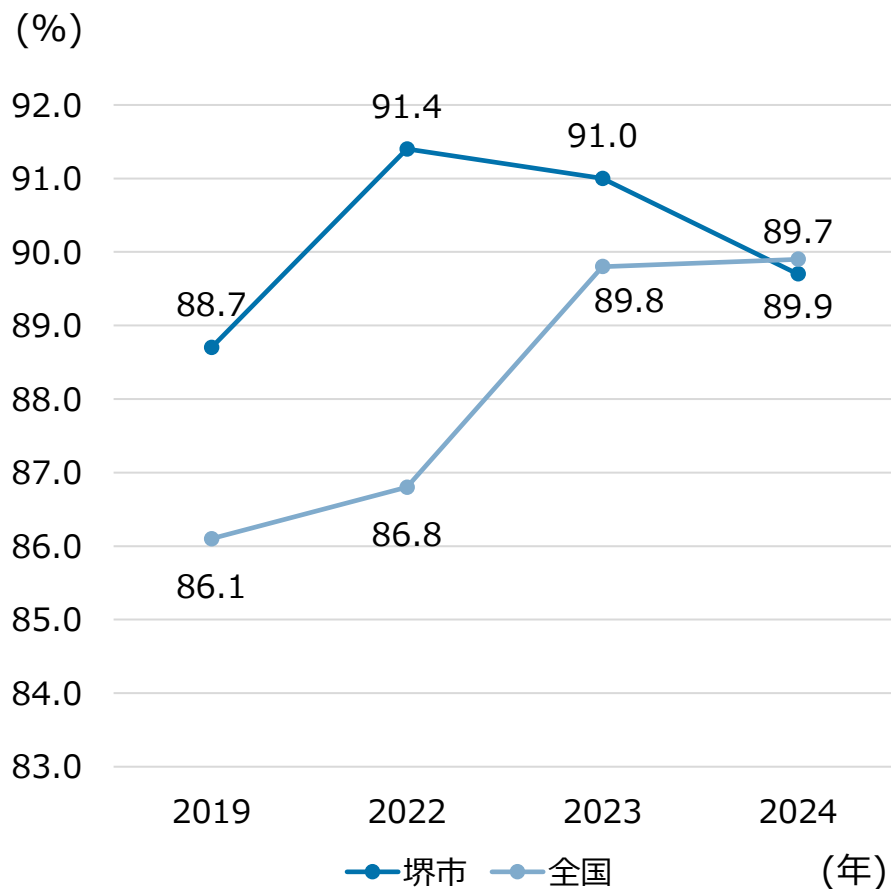
○ 小学6年生は2023年、中学2年生は2022年から増加し続けており、依然として高い水準を保っている。



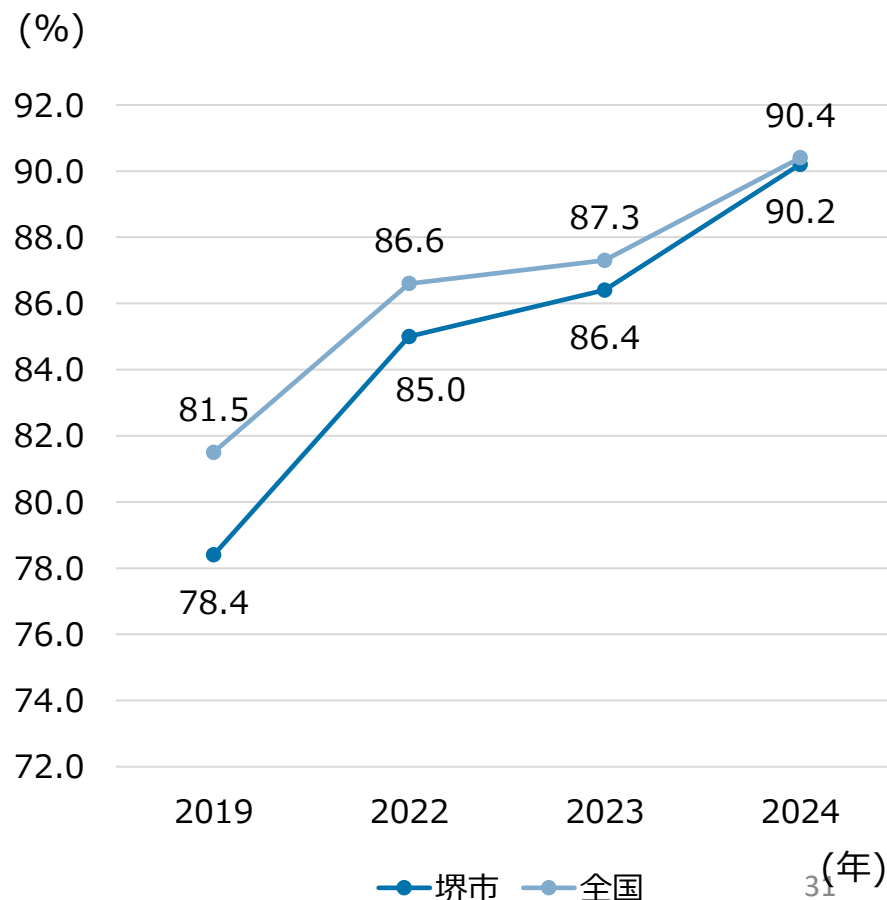
先生は自分のよいところを認めてくれている

○ 本市の小学6年生は2022年から連続して減少しており、2024年には微々たる差ではあるが全国を下回った。一方、中学3年生では増加傾向にあり、全国の値にかなり接近しつつある。

小学6年生

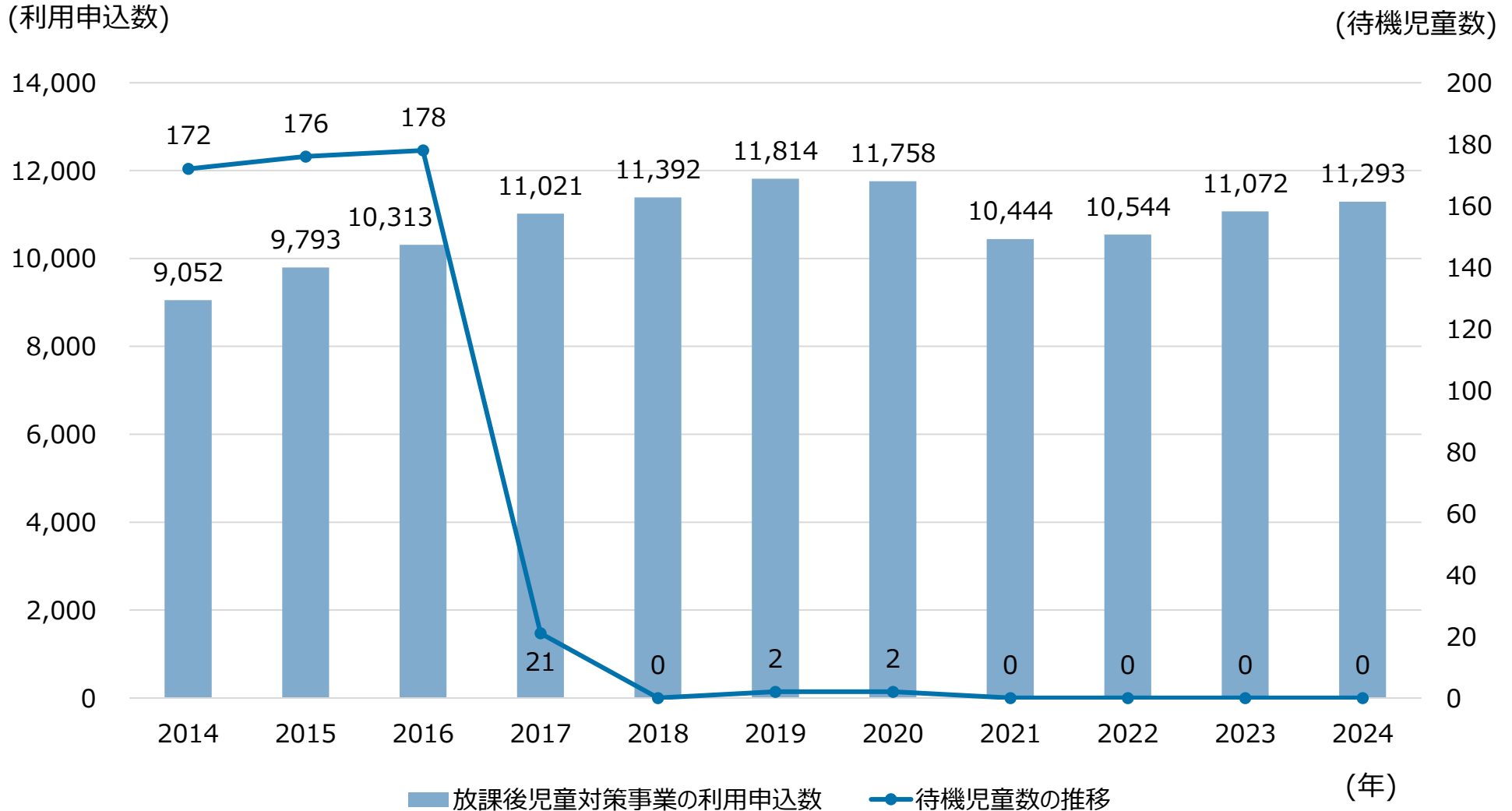


中学3年生



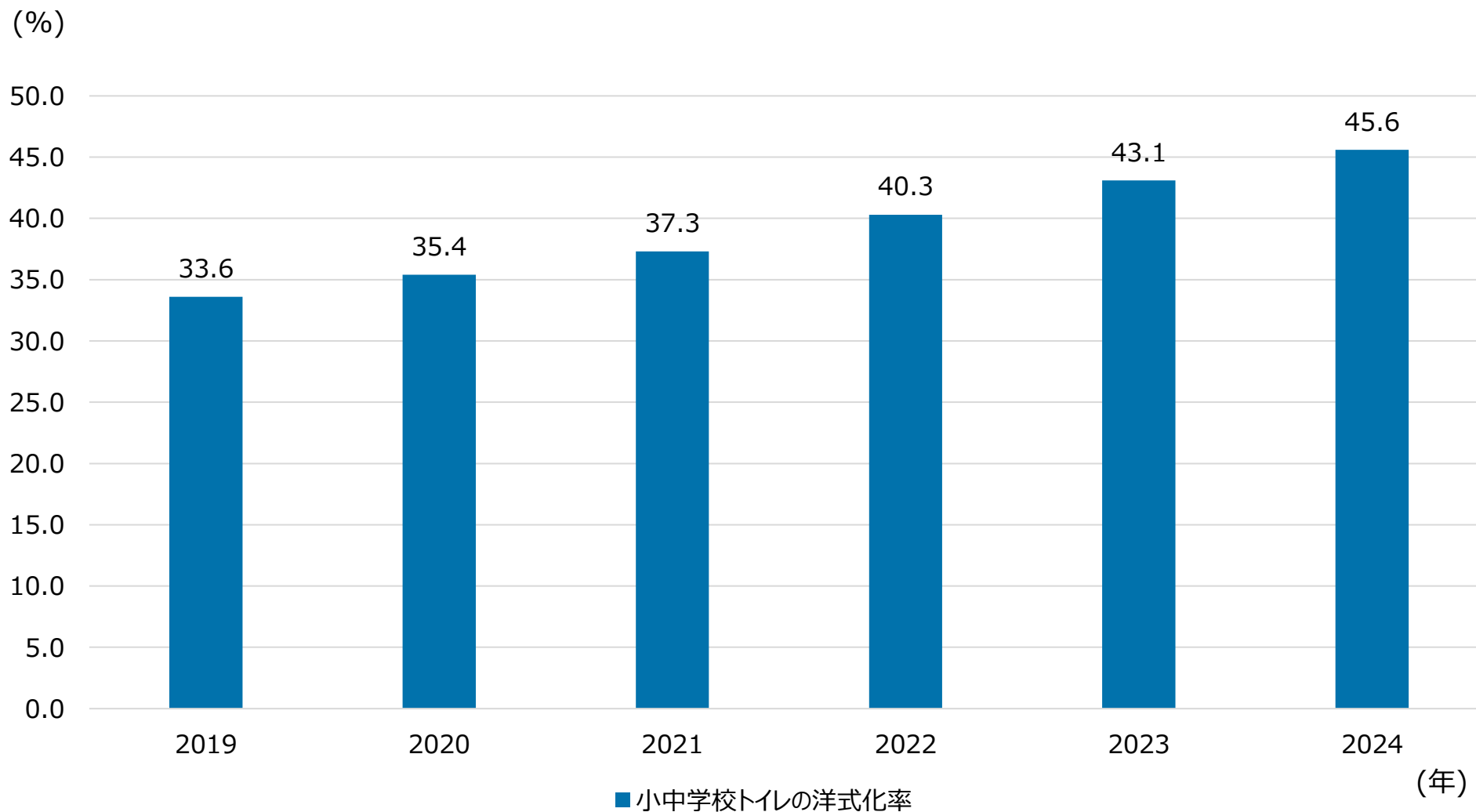
放課後児童対策事業の利用申込数、待機児童数の推移

○ 待機児童数は2021年以降から現在まで、4年間継続して0人である。



小中学校トイレの洋式化率

○ 小中学校トイレの洋式化率は年々上昇。2024年では45.6%が洋式化されている。



政令指定都市立図書館 千人あたり年間貸出件数

○ 2020年にかけて減少傾向、その後は2022年までは増加傾向。2023年には減少に転じているものの、常に政令指定都市平均を上回っている。

